今年も院長を中心に村上歯科医院全員で頑張って参りますので、よろしくお願いいたします★☆

投稿者 村上：12:21 | コメント (0)

2008年12月24日

院長の和彦先生★第九に♪

１２月２２日（月）に、院長の村上和彦先生が、ウェルシティ小倉グランドホールにて行われたベートーヴェンの第九の発表会に出演されました★☆
九州交響楽団の北九州巡回演奏会で、『第九の夕べ』という発表会でした！！

当院の前田先生が、聴きに行ってきましたよ（＾＾）！

先生のパートは、♪バス♪です（＾０＾）”
中央の上段よりにいます（>U<）

前田先生の感想！！
♪生の第九の迫力に感動しました！！
皆さんもぜひ一度聴いてもらいたいです！きっと感動しますよ★

関連ページです。ご覧ください。

投稿者 村上：09:13 | コメント (0)

2008年12月19日

年末年始の休診のお知らせ♪

誠に勝手ながら、１２月２９日（月）の午後～１月４日（日）までお休みとさせていただきます（＾０＾）”

尚、１月５日（月）からは、通常通り診療させていただきますので、よろしくお願いいたします☆★

今年も１年間お世話になりました♪
来年もよろしくお願い致します！！

★村上歯科医院　院長・スタッフ一同★

投稿者 村上：12:36 | コメント (0)

2008年12月08日

☆今月のアロマ☆

今月のアロマは"ピーチ"です（＾０＾）♪

２００８年も最後の月となりました！！
１年早いですねぇ（＾＾）"２００８年はどんな年でしたか？？

１２月は、院長の和彦先生のお誕生日でもあります（＾ｏ＾）スタッフからのプレゼント♪喜んでくださいました！！

プレゼントは、２００８年オリンピックの写真集と、２００９年の手帳、そして年末ジャンボ宝くじです（＾０＾）！

今月のミーティングの時には、お誕生日会もしますよ★☆★☆

投稿者 村上：09:05 | コメント (0)

2008年11月25日

デュオリサイタル♪♪

１１月２１日（金）にウェル戸畑で当院の患者様、牧山晴美さんとオーストリア出身のウルリーケ・ダンホーファーさんによるデュオリサイタルが行われました（＾＾）♪
牧山さんはピアノを、ダンホーファーさんはヴァイオリンの演奏をされました！！

院長をはじめ、村上スタッフ全員で聴きに行ってきましたよ（＾３－）"

ピアノとバイオリンの凄くきれいな演奏で２時間でしたがあっという間に時間が過ぎました♪♪

スタッフは一番前で演奏を聴くことが出来ましたよ！！

牧山さんのソロもありました（＾０＾）♪

院長先生☆とても素敵なリサイタルに出席させていただいてありがとうございました(＾３＾)♪

投稿者 村上：14:14 | コメント (0)

2008年11月18日

サイクルツアー北九州　ｉｎメディアドーム

当院の歯科衛生士の行村さんが、サイクルツアーに出ました！！

北九州市で市制４５周年を迎え、「元気発信！北九州」　をテーマに市民1人ひとりが健康で心豊かに満足して暮らすことができるまちづくりを目指すこととしています。

そこで今年北九州市内一円をサイクリングで楽しむ、サイクルツアーが開催されました！

(なぜか？)歯科衛生士の行村さんもミドルコース８０キロに出ました（＾０＾）”
趣味が自転車です☆★

当院の２０年らいの患者様の手塚さんも出てましたよ♪

投稿者 村上：14:45 | コメント (0)

2008年11月14日

いいな、いい歯。週間☆★ vol.２

「いいな、いい歯。」週間☆★

前回に引き続き、**～口腔と全身のかかわり～**についてお伝えします（＾０＾）！

『いい歯のための知っ得情報♪』

《１人平均残存歯数》

現在歯数とは、残っている歯の総数で、むし歯の歯も含みます。１人平均の現存歯数は、**２０歳で２８．８本・・・３０歳で２８．６本・・・４０歳で２７．５本**と少しずつ減っていきます。**５０歳では２４．８本・・・６０歳では２１．３本**・・・７０歳では１５．２本・・８０歳では８．９本となり４０歳代を境に急速に自分の歯が失われていくことが分かります。この歯を２大原因は、むし歯と歯周病で全体の７４．２％も占めています。４０歳代からのむし歯と歯周病の予防は大変重要となってきます。

《残存歯数と認知症の関係》

平均年齢７０歳後半の方の調査で、アルツハイマー型認知症の人は、健康な人と比べて残存歯数が少ないことが分かりました。

《歯周病の罹患率》

成人期から高齢期の歯周病の割合は、２０歳代で７５．３％、４０歳代で８５．７％、５０歳代で８６．４％と非常に多く、成人の８０％近くが歯周病にかかっています。

『お口の健康のために』
●「口は命の入り口」と言われるほど重要な役割を担っています。
皆さんのお口の中には、いつも細菌が５００種類、１億以上もいます。体が弱ってきたりすると、この中の細菌が身体に影響を及ぼします。これらを防ぎ、身体の健康を保つには、お口の中をキレイにしておくことが大切です。そのためには、自分自身でキレイにする**セルフケア**、お口のホームドクターを見つけ、定期的に管理してもらう**プロフェッショナルケア**、歯科医師会が行う**パブリックケア**、この３つが大切な柱になってきます。

《プロフェッショナルケア》

●むし歯、歯周病の状況を診て、全身状態、口腔内の状況に合った適切な口腔清掃のアドバイス
●日常的には清掃できない部位の専門的歯間清掃
●口腔機能の維持、回復を図る機能的口腔ケア
●食介護への支援
●フッ化物洗口など、予防に関係する薬剤の紹介と正しい使い方の指導

歯とお口の健康を守るためにはお口のホームドクターによる定期的な診査を年に２～４回受けることが大切です！！

《セルフケア》
●適切な歯ブラシや歯間清掃用具を選択し、すみずみまでキレイにする
●むし歯を引き起こす甘味食品の量を制限し、栄養バランスのとれた食事を良く噛んで食べる
●全身のリラクゼーションを心がけ、顔面、口腔をよく動かし、摂食・嚥下のための良好な口腔機能を保つ
●フッ化物入りの歯みがき剤を使用し、むし歯予防に役立てる

《パブリックケア》(福岡県歯科医師会の事業)
～ライフステージとともに～
●乳幼児期
・１歳６ヶ月歯科健診
・３歳児歯科健診
・幼稚園、保育園歯科健診

●学童期
・就学児歯科健診
・学校歯科健診
・歯科保健教育

●思春期・青春期
・学校歯科健診
・歯科保健教育
・大学、短大、専修学校歯科健診

●成、壮年期
・事業所歯科健診
・成人歯科健診
・妊産婦歯科健診
・節目健診　(４０歳・５０歳・６０歳・７０歳)

●高齢期
・訪問歯科保健活動
・高齢者よい歯の表彰

●福岡県歯科医師会は、ライフステージに沿った歯科健康事業の他にも、福岡県民の皆様が「健やかで心豊かな生活をすごされるように」年間を通して、様々な活動を実施しています。
○障害者(児)歯科健診・診療
○８０２０運動ー「いいな、いい歯。」週間
○休日急患診療
○「８０２０」生涯を通じた歯科保健大会

～福岡県歯科医師会のパンフレットより～

投稿者 村上：11:51 | コメント (0)

2008年11月13日

☆今月のアロマ☆

今月のアロマは”グレープフルーツ”です（＾０＾）！

すっかり寒くなって、街中はクリスマスモードですね（＾３＾）”
村上歯科医院にも少しクリスマスを取り入れてみました☆★☆

２００８年もあと少しですね♪♪

投稿者 村上：09:16 | コメント (0)

2008年11月07日

いいな、いい歯。週間☆★ vol.1

福岡県歯科医師会は、**１１月７、８日**を「いいな、いい歯。」の日とし、この両日を中心とした１週間を**「いいな、いい歯。」週間**としています。

そこで今回は、**～口腔と全身とのかかわり～**についてお伝えします（＾０＾）”

現在のあなたの歯は何本ありますか？？？

お口の中の細菌は、歯や歯ぐきの血管を通じて全身へ。。。
うっかり歯をおろそかにすると全身に影響を及ぼします！！

成人の場合、通常**２８本の永久歯**があります。親知らずを含めると３２本です。

一生のライフステージを通じて快適な生活を続けるには、自分の歯でよく噛むことがとても大切です。むし歯や歯周病は単に**「歯」**だけの問題にとどまりません。
歯を失うだけでなく、その原因である細菌が血液から全身に巡り、からだの臓器や器官に侵入し、**さまざまな病気を引き起こします**。

《全身に及ぼす影響》

①口臭
歯周病が口臭の８割を占めています。歯垢や舌苔を丁寧に取り除くことや、歯周病を治療することが口臭の予防につながります。

②心・脳疾患
歯周病が進行すると菌や毒素が、血液を介して全身の臓器に運ばれ様々な悪影響を及ぼします。重度の歯周病にかかると、動脈硬化による心疾患や脳

卒中にかかるリスクが２～３倍高くなります。心疾患を持っていたり、免疫力の低下した高齢者では、お口の中を清潔に保つ必要があります。

③メタボリックシンドローム
糖尿病や肥満のある人には歯周病が多く、しかも重篤になりやすいです。

④早産低体重児
歯周病にかかっている場合にも流産や早産の危険性が高くなります。気分の良いときに、小さめの歯ブラシを使うなど工夫して、できるだけお口の中を清潔に保ちましょう。

⑤骨そしょう症
女性ホルモンの分泌量が低下すると、身体だけでなく、歯を支える歯槽骨の骨密度にも影響を及ぼし、歯周病を悪化させます。骨粗鬆症の人が歯周病になると、歯槽骨が急激にやせてしまいます。

⑥バージャー病
喫煙者に多く原因不明と言われてきましたが、口腔内と患部の血管を調べた結果、すべての患者が中等度から重症の歯周病にかかっていることが分かりました。

⑦認知症
認知症には、アルツハイマー型と、脳血管性とがあります。
脳血管性の原因は脳卒中です。動脈硬化を防ぐことが大事なポイントとなります。歯周病菌は、動脈硬化を促進するので、歯周病を防ぐことが脳血管性認知症のリスクを防ぐことにつながります。
アルツハイマー型認知症は、脳に萎縮が見られるのが特徴で、歯の本数の少ない人ほど脳の萎縮が進んでいます。噛むことが脳を活性化させることにつながります。

⑧肩こり、頭痛(顎関節症)
噛み合わせが悪いと、無意識のうちにそれをかばって不自然な噛み方で食事をしてしまいます。そうすると、あごの周りの筋肉が異常に緊張して硬くなり、血行が悪くなって筋肉性の痛みとなって頭痛、肩こりが起こります。あごが鳴る、口が大きく開かない、あごが痛むなどの症状は顎関節症の３大症状といわれています。
一度噛み合せをチェックしてみてはいかがでしょうか。

⑨肺炎
高齢者や、寝たきりの人、脳卒中の後遺症などで飲み込む力が低下している人は誤ってお口の中のものが気道はへ入り込んでしまうことがあります。歯周病菌など、お口の中の細菌が気管に入り込み、肺炎にかかることがあります。高齢者が亡くなる原因として最も多のがこの”誤嚥性肺炎”です。お口の中を清潔に保つことが、予防につながります。

⑩胃潰瘍、胃がん
ピロリ菌が胃炎や胃潰瘍、さらには胃がんリスク因子であることが見つかり、ピロリ菌保菌者は約５倍も胃がんになりやすいことが分かりました。このピロリ菌は歯周病菌によって威力を増します。ピロリ菌は「お口」からやってきます。

⑪ 糖尿病
糖尿病の人は健康な人と比べて、歯周病にかかっている割合が多く、重症化しやすいことが分かっており、歯周病は糖尿病の６番目の合併症といわれています。歯周病を改善すると、糖尿病の状態もよくなるなど、歯周病と糖尿病は相互に影響を及ぼしています。

歯が健康でないと医療費の負担が増えます！！

～福岡県歯科医師会のパンフレットより～

次回は、お口の健康を保つために・・・をお伝えします（＾＾）”

投稿者 村上：09:34 | コメント (0)

2008年10月28日

ながの縁日祭＆健康と福祉まつり♪♪♪

１０月２６日（日）に小倉南区で健康まつりが行われました（＾０＾）”
当院の歯科衛生士の行村さんも歯科衛生士会の役員としてお手伝いをしました。

小倉歯科医師会の会長の中野充先生！！
たくさんの来場者の方々と歯のことについて絶え間なくお話されてました（＾＾）

１１月９日（日）にも小倉歯科医師会館で小倉歯科医師会主催のお口に関する健口まつりがあります！！
口臭測定、唾液検査、咬合力の測定、歯科医師や歯科衛生士への相談コーナーなど等たくさんのコーナーがあり、楽しめる内容となっています。
興味のある方は、ぜひお越しください（＾３＾）”
行村さんもお手伝いしていますよ。

当日は駐車場は混雑が予想されるため、公共の交通機関をご利用ください。

投稿者 村上：17:06 | コメント (0)

2008年10月21日

手作りギャラリー☆☆つる平ひだまり

当院の患者様の河本美智子さんが、１０月１３日（月）～１０月１９日（日）に**『喜寿の木目込み展』**を魚町銀天街の**つる平**にてされました（＾＾）

約２０展のかわいい手作りのお人形さんを展示されたようです♪♪

スタッフの行村と節原が行ってきました！！とてもかわいかったそうです。

節原
●一つ一つの表情や動きなど、細かい所まで表現されていて感動しました！！●

投稿者 村上：09:20 | コメント (0)

2008年10月20日

♪１００キロウォーク♪

１０月１１、１２日に行われた１００㌔ウォークに今年はサポーターとして、行村さんと末広さんが参加しました！！
院長の和彦先生は、今年もサポーターをされ、中津のチェックポイントのリーダーをしましたよ（＾０＾）”

行村さんと末広さんの感想です☆★

《行村さん》
昨年は選手、今年はサポーターで１００で㌔ウォークに参加させていただきました。
中津駅と別府のゴール(午前中)で、これだけ多くの人達の動きを見ながら、サポート運営していくとは、なんて大変なことかと思いました。
サポーターは初めてだったので、皆さんにご迷惑をお掛けしたこともたくさんあったかと思いますが、私にとってはとてもいい経験になりました。
ゴールでは、完歩者の方にもらい泣きしてしまい、たくさんの感動も頂きました！！

《末広さん》
初参加の１００キロウォークで何も分からない私は、はじめどうなるかと思いましたが、無事に終わり、サポーターとして参加できてよかったと思います。
選手の方や、サポーターの方など、様々な人に出会ってとてもいい経験になりました。
ほとんど寝ずに過ごした２日間できつかったけど、とても楽しかったです。
歩いている選手の方を見ていたら、来年は私も・・・選手として参加してみようかなと、思ったりもしました。

サポーターを終えた後は、２人で別府温泉に浸かって、癒されて・・・（＾０＾）　そして、お土産を買って帰ってきたそうです★☆

ゴールのリーダをされた白神さんと（＾３＾）

患者さんと和彦先生☆★

完歩されたそうです！！！

来年は村上歯科全員参加・・・というううわさが？？？（＾０＾）”

投稿者 村上：09:15 | コメント (0)

2008年10月19日

村上歯科医院治療例（10）＜審美歯科（歯周治療と矯正治療）＞

村上歯科医院の治療例もついに１０症例目に突入しました。今回は歯周治療と矯正治療を併用した審美歯科症例です。歯科関係者の皆様も一般の方も、どうぞご覧ください。

患者様は初診時２１歳の女性です。主訴は歯並びを治したいということと歯肉からの出血が気になるとのことでした。

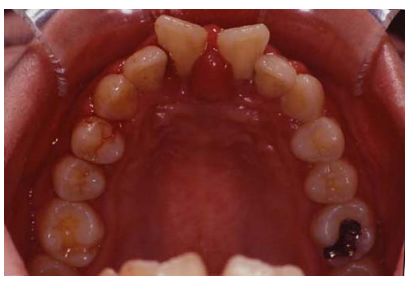
治療前　　治療後（初診から約２年）

治療前　　治療後

治療前　　治療後

治療前には歯肉の発赤や腫脹が顕著で歯肉からの出血も多量でしたが、術後には歯肉はコーラルピンク色に変化し健康な状態を取り戻しています。また、捻転していた前歯も正直し審美的に回復しています。
治療前の口元は弱々しく不健康に見えますが、治療後は生き生きした健康的な口元に変化しています。人の口元（顔貌）は歯周組織の健康度や歯並びによってずいぶん変化することが理解できるかと思います。

この症例の治療経過をご紹介いたします。



初診時(H7年3月）の口腔内写真です。歯肉の発赤や腫脹が顕著で歯肉からの出血も多量でした。患者様は歯ブラシを当てると出血するので歯ブラシを歯肉に当てないようにしていたそうです。主訴は歯並びを治して欲しいと言うことでしたが、ご覧のような歯周組織の状態では矯正治療を始めても良い結果に繋がらないことを患者様にお話しし、歯周治療から開始することを了解いただきました。

初診から半年後(H7年9月)の口腔内の状態です。患者様の熱心なブラッシング（セルフケア）と、担当の歯科衛生士による丁寧なルートプレーニング（プロフェッショナルケア）により歯肉の炎症も消退し、歯周組織の健康を回復しました。
ここまで来て初めて矯正治療に移行することが可能になるのです。

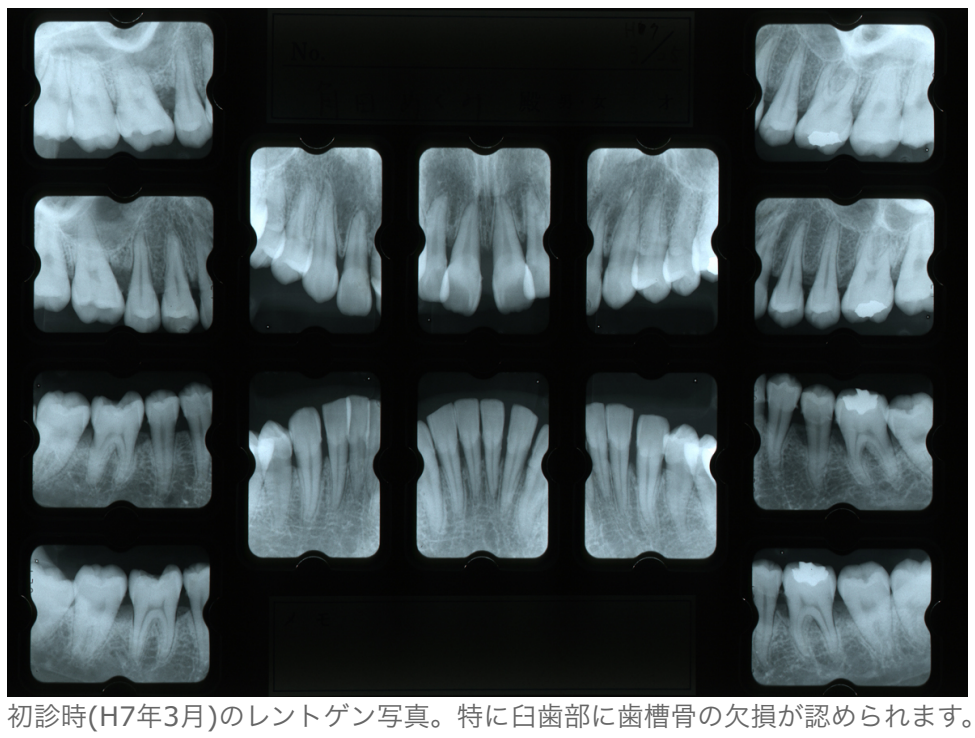
矯正治療を開始しました。矯正治療に関しては北九州市小倉北区でご開業の山地正樹先生に丁寧にご指導いただきました。
４番の抜歯ケースの可能性もありましたが、とりあえずレベリングから行い、その後必要であれば本格的な矯正治療に移行する予定でありましたが、レベリングの結果患者様の満足を得ましたのでこの状態で修復治療に入りました。

治療完了時(H9年1月)の口腔内写真。歯肉はコーラルピンク色に変化し健康な状態を取り戻しています。また、捻転していた前歯も正直し審美的に回復していますし、歯列弓の形態も正しく修正されています。

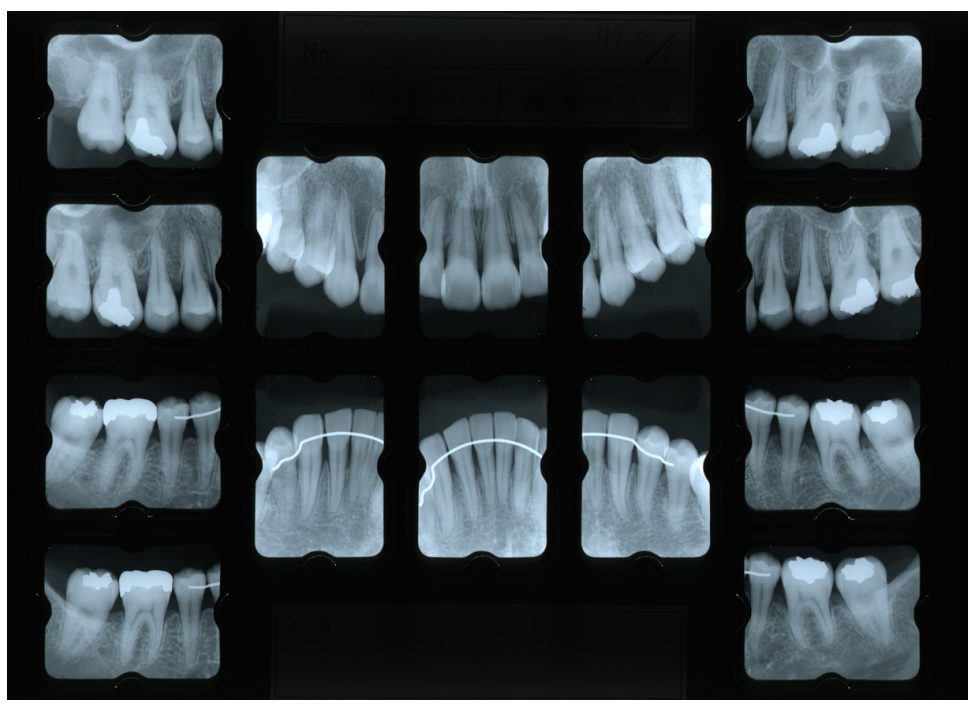
H7年3月　　H8年9月

たった１年半の変化と思えないほどの変化が表情に現れています。口腔の健康が彼女の内面的な自信となって現れていると考えられます。

リティーナー装着により後戻りの危険を防いでいます。



初診時(H7年3月)のレントゲン写真。特に臼歯部に歯槽骨の欠損が認められます。

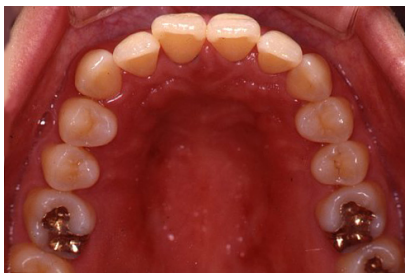


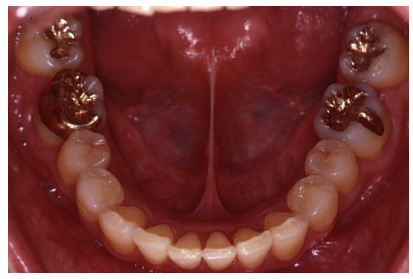
治療完了時(H9年5月）のレントゲン写真。全体的に歯槽骨の緻密化が認められます。

この症例のように患者様のご協力のもと包括的な歯科治療を行うことにより、ご覧のような良好な結果を得ることができると考えられます。

この後、この患者様はご結婚をされ、お二人の子供さんに恵まれました。その間お忙しかったようで来院いただけませんでしたが、約１０年ぶり（H19年11月）にご来院くださいました。本当に心から嬉しかったです。なぜなら歯肉炎や歯並びがもとの悪い状態に戻っていないかと心配だったからです。

治療完了から約１０年後の状態





歯肉の状態は少し悪化し、歯列も少し後戻りしていましたが、１０年と言う空白にも関わらず思ったより悪くなっておらずホッとしました。この後、メインテナンスを続けていこうと思っています。

他の治療例もご覧ください。
村上歯科医院治療例（９）＜矯正治療＞
村上歯科医院治療例（８）＜歯周治療＞
村上歯科医院治療例（７）＜審美歯科（歯肉の美白）＞
村上歯科医院治療例（６）＜インプラント治療＞
村上歯科医院治療例（５）＜インプラント治療＞
村上歯科医院治療例（４）＜インプラント治療＞
村上歯科医院治療例（３）＜インプラント治療＞
村上歯科医院治療例（２）＜インプラント治療＞
村上歯科医院治療例（１）＜インプラント治療＞

投稿者 村上：13:55 | コメント (0)

村上歯科医院治療例（９）＜矯正治療＞

村上歯科医院治療例の９症例目です。今回は矯正治療の症例です。歯科関係者の皆様も一般の方も、どうぞご覧ください。

患者様は１５歳の男性です。

治療前のレントゲン写真です。左上の犬歯が近心に傾斜し埋伏しています。乳犬歯の晩期残存が見られます。

治療後のレントゲン写真です。乳犬歯を抜歯し矯正治療を行った結果、犬歯が正しく萌出しています。

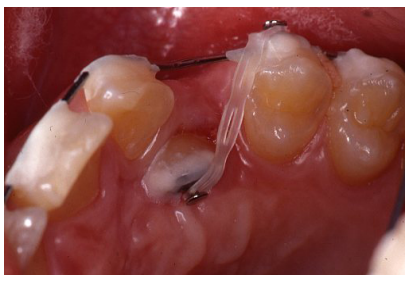
この症例の治療経過を詳しく紹介いたします。

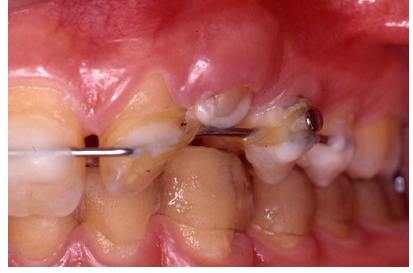
乳犬歯を抜歯した状態の口腔内です。左上の犬歯のあるべき部分に左下の犬歯が入り込んだ状態です。この状態から矯正治療を開始しました。

まず、口蓋の歯肉を剥離し埋伏している犬歯の先端にリンガルボタンを接着、上顎の切歯から小臼歯にかけてワイヤーを接着し、パワーチェーンで犬歯を牽引しました。犬歯が近心傾斜していたため、アップライトをさせるため犬歯を遠心方向に牽引しました。

牽引から２ヶ月半後。犬歯が頭を出してきて下顎の犬歯と干渉し始めました。

下顎の犬歯の切端を少し短く修正し、下顎にスプリントを装着、咬合を挙上した状態で牽引を続けました。


犬歯がかなり頭を出してきたので、今度は犬歯を頬側へ移動するためにリンガルボタンの位置を犬歯の舌側へ移動しパワーチェーンを位置も考慮しました。

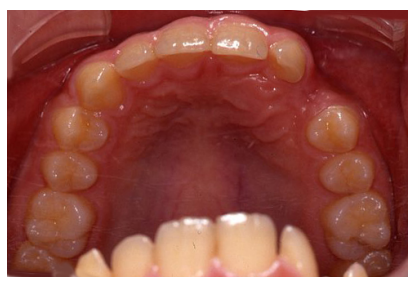
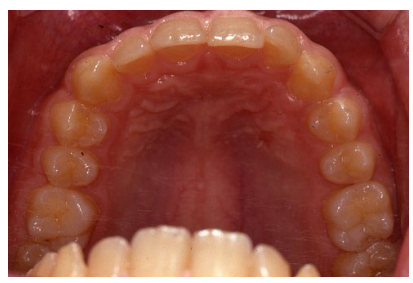


牽引から約５ヶ月。かなり犬歯が頬側に移動しています。

上顎犬歯が下顎犬歯を超えたところでスプリントを外し、その後後戻りしないことを確認した後に矯正装置も外し、動的な保定に移行しました。
実際の動的治療期間（矯正装置使用期間）は約５ヶ月でした。

☞

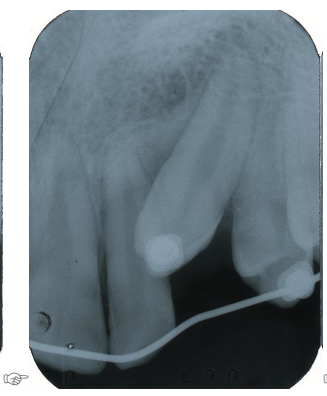
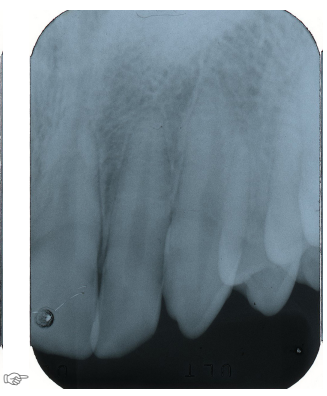
治療前　　治療後（初診より３年半）


☞


治療前　　治療後

☞

治療前　　治療後
治療前に比べ治療後は自然な歯列が確保されています。実際の動的治療期間（矯正装置使用期間）は約５ヶ月でした。

☞

☞


治療前　　治療中　　治療後
治療後は犬歯が正直しているのが認められます。

この治療のポイントは、埋伏していた犬歯の位置の診断と、口蓋歯肉の剥離手術。そして咬合の挙上により犬歯の移動をスムーズにしたことだと思います。犬歯がジャンプしてしまえば、あとは患者の咀嚼運動による動的保定に委ねるだけでよいのです。

この症例のように犬歯が埋伏状態のまま成人となり、結局上顎２３４のブリッジとなってしまった患者様をよく見かけます。本当に悲惨と言うしかありません。この患者様の場合も私自身かなり悩んだ末に（自信があった訳ではありませんが）患者様の将来を考え断行しました。結果は良かったのでホッとしているところですが、２３４のブリッジになることを考えると、この決断も許されると思います。

他の治療例もご覧ください
村上歯科医院治療例（８）＜歯周治療＞
村上歯科医院治療例（７）＜審美歯科（歯肉の美白）＞
村上歯科医院治療例（６）＜インプラント治療＞
村上歯科医院治療例（５）＜インプラント治療＞

村上歯科医院治療例（４）＜インプラント治療＞
村上歯科医院治療例（３）＜インプラント治療＞
村上歯科医院治療例（２）＜インプラント治療＞
村上歯科医院治療例（１）＜インプラント治療＞

投稿者 村上：01:06 | コメント (0)

2008年10月17日

衛生士の行村さんが・・・！！！

当院の歯科衛生士の行村さんが１０月に結婚しました（＾３＾）””

幸せいっぱいの新婚さんです♪

結婚しましたが、まだ村上歯科で働きます！！
よろしくお願い致します（＾＾）
行村から今倉になりました☆★

投稿者 村上：15:46 | コメント (0)

2008年10月16日

♪受付の制服が新しくなりました♪

受付の制服が１０月より新しくなりました（＾０＾）
以前はベージュでしたが、今回はグレーになりました★☆

患者様からも好評です★★☆☆

投稿者 村上：09:10 | コメント (0)

2008年10月09日

受付の進さん退職（>。<）”

１０月４日（土）で受付の進さんが退職されました。。。
約４年間、村上歯科医院の受付として活躍していましたよ★☆

進さんが辞めてからまだ日が浅くあまり実感のない毎日ですが、いつもテキパキ動いていた進さんがいないんだな・・・と、ふと感じた時に寂しくなります。。。

進さんの後は、宮原さんがしっかりと受け継いでくれています（＾０＾）！！
小西さんと２人で村上歯科医院の受付として頑張ってくれていますよ♪♪

進さん最後の日に、院長とスタッフ全員で簡単なお別れ会をして、花束とプレゼントを渡しました！！
最後にみんなで写真撮影しました（＾＾）♪

投稿者 村上：09:24 | コメント (0)

2008年10月03日

☆今月のアロマ☆

今月のアロマは”ココナッツ”です（＾０＾）！！
今月は新しくココナッツを取り入れてみました♪♪

すっかり朝晩は涼しくなって、秋晴れが気持ちいい毎日ですね（＾。＜）”
１０月はハロウィンなので、村上歯科にも少し取り入れてみました（＾＾）★☆

実は・・・村上歯科医院の受付の進さんが今週までで退職となりました（>。＜）”

また次回のニュースで詳しくお伝えいたします☆★

投稿者 村上：09:05 | コメント (0)

2008年09月23日

村上歯科医院治療例（８）＜歯周治療＞

おなじみの村上歯科医院の治療例です。今回は歯周治療の症例です。歯科関係者の皆様も一般の方も、どうぞご覧ください。

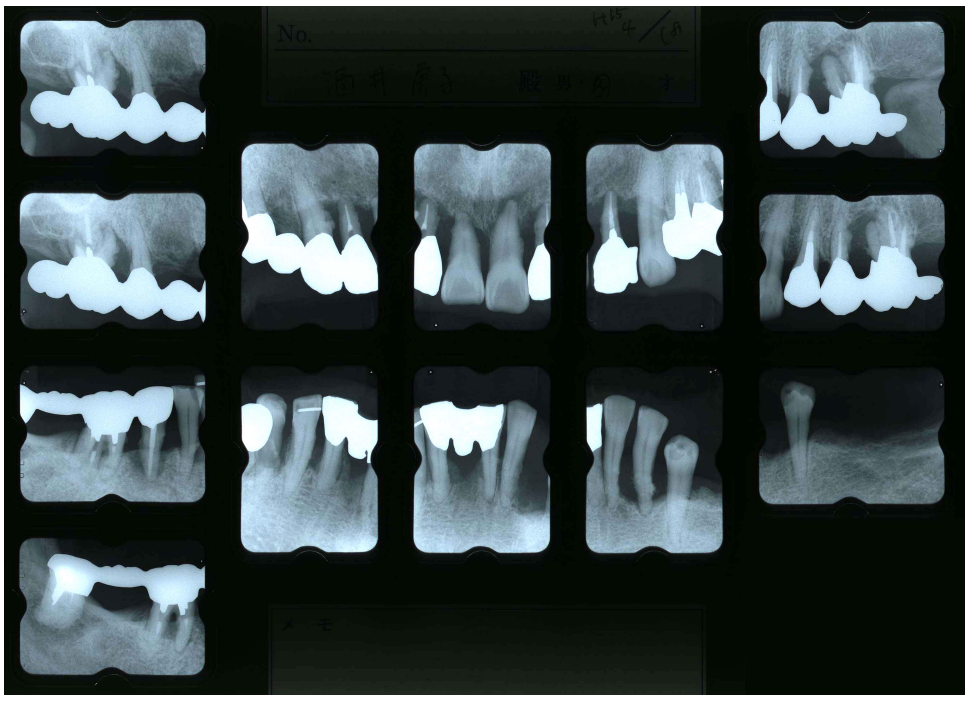
患者様は６１歳の女性です。歯がグラグラしていて噛み合わせると痛いと言うことでご来院されました。

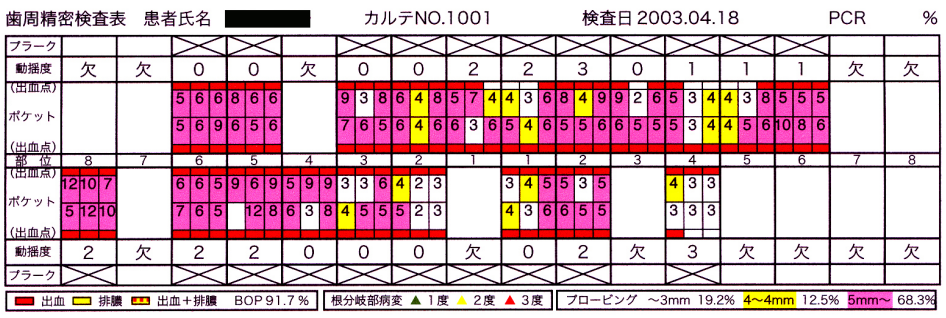
治療前（平成１５年４月）
口腔内全体に歯肉の発赤は認められますが、歯肉は繊維性でレントゲン像や歯周精密検査結果ほど重症度は感じられませんでした。臼歯部の多くが欠損しており、多くに補綴処置が施されていることから、咬合の低下が予測されました。

治療後（平成１６年９月）
１年５ヶ月かけて全顎的に歯周治療と補綴治療を行いました。義歯はI-Bar Dentuerで対応しました。健康的な歯周組織が獲得され、咬合も安定しているように推察されます。

この治療法について詳しくご説明いたします。
（なお、この症例は日本歯科評論2008年１月号の私の論文「患者様が真に望む歯科医療の実践」の中に掲載されています）

まず初診時の全顎レントゲン写真と歯周精密検査表をご覧ください。口腔内写真から想像するよりもはるかに重症の歯周疾患に罹患していることがお分かりいただけることと思います。

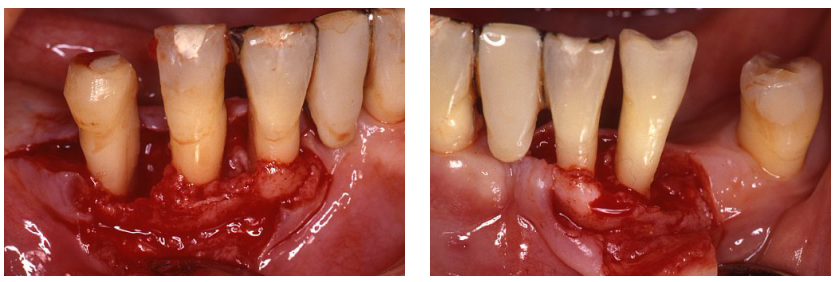




５ミリ以上の歯周ポケットが68.3%存在し、BOP（プロービング時の出血）が91.7%。多くの歯牙に２ないし３度の動揺が認められました。

まず最初にプラークのコントロールを患者様自身で行って頂けるようブラッシング指導を行い、同時に来院のたびに術者みがきにより口腔を清潔にする習慣を身につけて頂きました。患者様は私や担当の歯科衛生士の指導に積極的にご協力くださり、見る見るうちに健康な歯周組織を取り戻していきました。

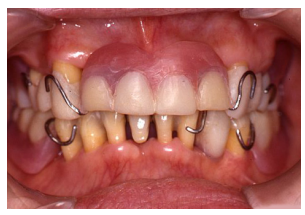
医院サイドでは比較的動揺の少ない歯牙で患者様に食事をして頂きながら、保存不可能な歯牙の抜歯と最小限の歯牙にオープンフラップデブライドメントを行い、その他の歯牙には浸麻下でのSRPを行っていきました。



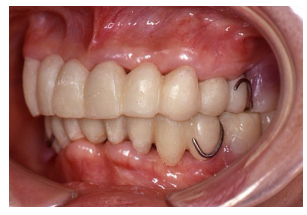
重症だが重要なキートゥースであった右下４番は、歯周外科手術前後には咬合に参加させずフリーに保ち、自然提出を待った後に暫間的に固定を行

い、仮義歯の鉤歯としました。

左上１番は保存することが不可能と思われていましたが、仮義歯の下で安静状態を保ったことと患者様の熱心なプラークコントロールにより奇跡的に保存することが可能になりました。



初診より１０ヶ月後の口腔内の状態です。初期段階の仮の義歯が入っています。



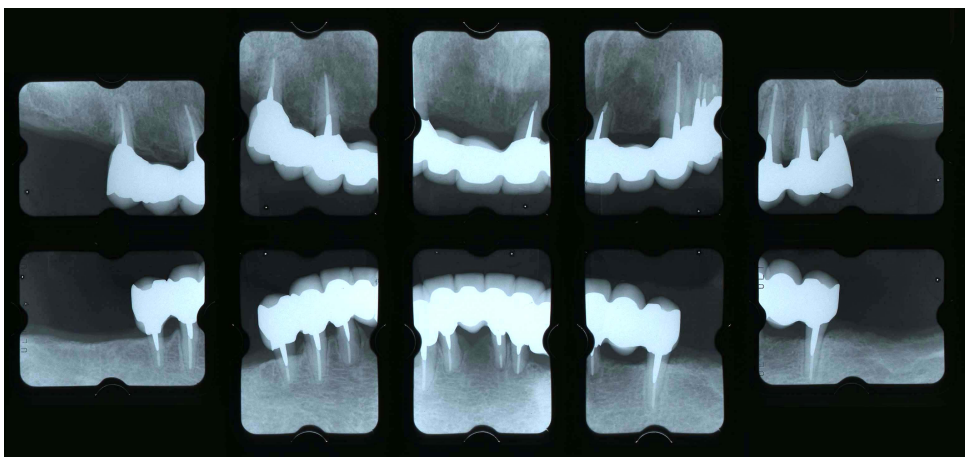
初診より１年後の口腔内の状態です。最終補綴物を想定した形態のプロビジョナルレストレーションが装着されています。この頃になると歯周組織も健康状態に回復し、仮の義歯で噛み合わせが十分できるかどうか観察していきます。

初診より１年５ヶ月の最終補綴物装着時の口腔内の状態です。右上の犬歯が左上の犬歯より長いのは、審美性を重視し咬合平面を口唇の線に会わせているからです。

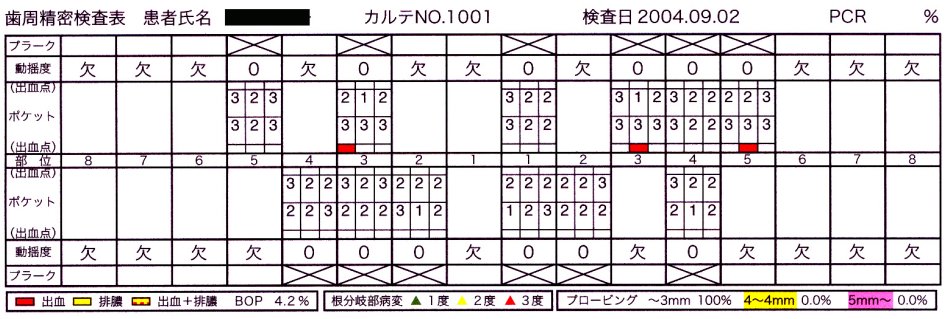
最終義歯を装着した状態の口腔内の状態です。歯周組織の健康がよみがえっています。

右の写真が義歯を入れた状態です。

右の写真が義歯を入れた状態です。



治療完了時（平成１６年８月）の全顎レントゲン写真です。歯槽骨吸収が改善され、歯槽頂線が平坦化されているのが確認できます。



治療完了時（平成１６年９月）の歯周精密検査表です。歯周ポケットは全て３ミリ以内で、初診時に91.7%あったBOPも4.2%にまで減少し、歯牙の動揺も収束し、歯周組織の健康が回復したことを物語っています。

この症例から言えることは、いかに患者様のセルフケアという協力が重要であるかと言うことです。我々医療者側だけが頑張ってもこのような結果は絶対に得らないと言っても過言ではありません。

また、この良好な結果を維持していくには定期的な検診が欠かせません。患者様のセルフケアとともに医院側のプロフェッショナルケアがあいまって初めて口腔の健康が長い間維持されるのです。

この患者様は治療終了後、ご主人（当院の患者様です）と一緒に３ヶ月に一度、必ず定期検診（メインテナンス）に来院くださっています。そしてお口の健康を取り戻した喜びをスタッフと一緒に噛み締めておられます。

ここにこの患者様からのアンケートを掲載いたします。
「長い間悩んでいました歯と歯ぐきが、これ程までにきれいになったなんてとても嬉しいです。高度な技術と時間をかけての親切に丁寧な治療をしていただき、心より感謝しています。先生方、衛生士さん、受付の方、皆様いつもにこやかでやさしくて安心して通院できました。１年５ヶ月、ありがとうございました。きれいにしていただきましたので一生懸命ハミガキがんばって、この状態を維持しようと思います。これからもよろしくお願いします。」

他の治療例もご覧ください
村上歯科医院治療例（７）＜審美歯科（歯肉の美白）＞
村上歯科医院治療例（６）＜インプラント治療＞
村上歯科医院治療例（５）＜インプラント治療＞
村上歯科医院治療例（４）＜インプラント治療＞
村上歯科医院治療例（３）＜インプラント治療＞
村上歯科医院治療例（２）＜インプラント治療＞
村上歯科医院治療例（１）＜インプラント治療＞

投稿者 村上：21:31 | コメント (0)

2008年09月15日

九州アクターズクラブ１０周年記念講演会に行ってきました!

９月１４日（日）に戸畑市民会館大ホールで九州アクターズクラブ１０周年記念講演会が行われました。当院の患者様の舌間一道くんが主役の一人としてAIロボットのバンズ役で出演し、とてもいい味を出していました。

タイトルは「MUSICAL 未来からの贈り物」。物語全体を通して「愛」と「地球環境問題」がテーマとして流れていて、とても暖かい気持ちにさせられる素敵なそして壮大なファンタジーでした。一道くんをはじめキャストの皆さんのはつらつとした演技に涙と感動のひと時でした。

バンズ役の舌間一道くんです。ダンスも歌も最高で、悪役ぶりも板についていました。１０年間の努力に裏付けされた自信と貫禄が感じられました。お疲れさまでした。大成功おめでとう。これからも頑張ってくださいね。

投稿者 村上：01:49 | コメント (0)

2008年09月11日

歯科衛生士の行村が女性管理者の実力要請講座へ行ってきました！！

９月３、４日の２日間にかけて行われた**”女性管理者の実力要請講座”**へ当院の歯科衛生士の行村さんが行ってきました（＾０＾）

～「ビジネス戦略」を実現する女性リーダーになるためのレシピ～というテーマの下に２人の先生からの講義かあったようです（＾＾）！

２日間の講義を受けた修了証書です☆★

研修のねらい
・・・「ビジネス戦略」の基本を学ぶことで、視野の拡大とスキルアップを図りながら、女性の特有を活かした戦略実行のための最適な職場環境づくりを目指し、チーム（組織）の総合力を高めるための役割を学ぶ。

研修のﾎﾟｲﾝﾄ
○チーム（組織）力を高めるためｊの女性リーダーのあり方について具体的に学ぶ。
○「ビジネス戦略」を基礎から理解することで、自社の方向性が明確にイメージでき、レベルアップした行動に結びつく。
○円滑な人間関係のあり方を学び、戦略の実現性を高めるための組織作りにつなげることができる。

☆★行村さんの感想★☆
女性管理者の勉強会ということで多職種の人２０名の参加でした。
いつもは、歯科専門の勉強会が多いのですが、今回は経営やマネージメント、自身の生涯に渡る目標設定、コミュニケーションなどなど、、、たくさんのことを学ぶことができました。そして、何よりいろいろなところで働く女性たちと出会え、話を聞いて、たくさんの刺激を受けることが出来ました。
私自身、歯科衛生士という仕事を一生続けていけるように、日々努力していこうと思いました。

投稿者 村上：09:33 | コメント (0)

2008年09月08日

リサイタルのご案内！

当院の患者様の牧山晴美さん（ピアノ）とウルリーケ・ダンホーファーさん（ヴァイオリン）のデュオリサイタルが１１月２１日（金）、ウエルとばたで開かれます。ご興味のある方は是非お越し下さい。

牧山晴美さんは小倉高校を卒業後、エリザベート音楽大学大学院を終了後渡米され、現在ワシントン大学博士課程に在籍し、現代ピアノ音楽の研究に取り組む傍ら、ソロ、室内楽、また現代音楽の分野で幅広い演奏活動を行っています。
晴美さんはワシントンから帰国する度に当院にお口のお手入れに来てくれています。

演目
ベートーヴェン：ソナタ第５番ヘ長調作品２４「春」
ドビュッシー：レントより遅く（ワルツ）、喜びの島（ピアノソロ）
ドビュッシー：ソナタ
シューベルト：ロンドロ短調D.895
ブラームス：ソナタ第３番ニ短調作品108

投稿者 村上：23:51 | コメント (0)

2008年09月04日

☆今月のアロマ☆

今月のアロマは、”グレープフルーツ”です（＾＾）！ さわやかないい香りですよ♪ ９月に入って朝晩は、だいぶ涼しくなってきましたね☆★ 季節の変わり目には体調を崩す方も多いいので、気をつけられてくださいね（＾３＾”）

投稿者 村上：16:25 | コメント (0)

☆オフィスホワイトニングサマーキャンペーン☆抽選発表☆

たくさんのご応募誠にありがとうございました（＾０＾）！
抽選の結果が出ましたので、ご報告いたします☆☆☆

抽選の結果、３１名の方のご応募の中から、下記の１０名様が当選しました！！（順不同）
おめでとうございます（＾３－）〃

Ａ．Ｎさん　２０代　女性　　Ｋ．Ｕさん　４０代　女性

Ｍ．Ｈさん　２０代　女性　　Ｍ．Ｍさん　２０代　女性

Ｓ．Ｓさん　３０代　男性　　Ｔ．Ｙさん　４０代　女性

Ｙ．Ｎさん　３０代　男性　　Ｓ．Ｓさん　３０代　女性

Ｔ．Ｉ　さん　６０代　女性　　Ｈ．Ａさん　２０代　女性

尚、抽選にはずれた２１名様には『ホワイトニング１回コースの半額券』を贈呈しています（＾＾）
この機会に是非、ご利用ください☆★

投稿者 村上：09:53 | コメント (0)

2008年09月01日

☆ホワイトニングサマーキャンペーン終了のお知らせ☆

８月１６日（月）から行っていましたオフィスホワイトニングサマーキャンペーンの応募は８月３０日（土）を持ちまして終了とさせていただきます（＾０＾）
たくさんのご応募ありがとうございました♪♪

尚、結果は来週中にはご報告いたしますので、楽しみにしていてくださいね（＾３＾）
>>

投稿者 村上：09:49 | コメント (0)

2008年08月31日

村上歯科医院治療例（７）＜審美歯科（歯肉の美白）＞

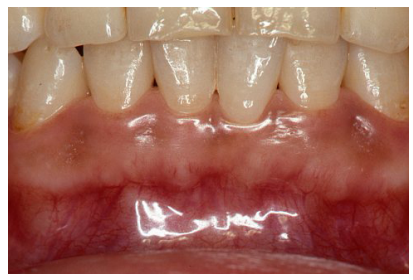
引き続き村上歯科医院の治療例を掲載いたします。今回は審美歯科治療の中の歯肉の美白（歯肉のピーリング）についてです。歯科関係者の皆様も患者様も、どうぞご覧ください。

患者様は２４歳の女性です。歯ぐきが黒いのが気になって来院されました。

治療前　　治療後
治療後は歯ぐきの黒い部分がなくなってピンク色の美しい歯ぐきに変化していますね。この治療法について詳しくご説明いたします。

歯肉の美白法（メラニン色素除去法）には外科的に切除する方法やレーザーで除去する方法などいろいろな方法がありますが、当院では痛みもなく保存的で効果的なフェノール・アルコール法（薬物腐食法）を使用しています。
述式はとても簡単で、メラニン色素の沈着している歯肉にフェノール液を綿球で塗布し数分後にアルコールで中和するといったものです。

液状フェノールと消毒用エタノール



歯肉にフェノールを塗布すると左の写真のようにその部分が白くなります。その後約２週間でその部分がはがれ落ち右のようにピンク色の美しい歯ぐきに変わります。

術後わずかに褐色の部分が残ったのでその部分だけ再度治療を行いました。

初診時（治療前）

初診から約２ヶ月後（治療後）

治療完了から約２年　ほとんど後戻りがなく美しいままである

他の治療例もご覧ください
村上歯科医院治療例（６）＜インプラント治療＞
村上歯科医院治療例（５）＜インプラント治療＞
村上歯科医院治療例（４）＜インプラント治療＞
村上歯科医院治療例（３）＜インプラント治療＞

村上歯科医院治療例（２）＜インプラント治療＞
村上歯科医院治療例（１）＜インプラント治療＞

投稿者 村上：00:48 | コメント (0)

2008年08月30日

☆サマーキャンペーン終了のお知らせ☆

８月１８日（月）から行っていましたオフィスホワイトニングのサマーキャンペーンの応募は８月３０日（土）を持ちまして終了とさせていただきます（＾０＾）
たくさんのご応募ありがとうございました♪♪

尚、結果はまたご報告いたしますので、楽しみにしていてくださいね（＾＾）♪

投稿者 村上：14:23 | コメント (0)

2008年08月28日

村上歯科医院治療例（６）＜インプラント治療＞

先日に続き村上歯科医院の治療例を掲載いたします。今回は総義歯の患者様にインプラントとマグネットを応用したケースです。歯科関係者の皆様も患者様も、どうぞご覧ください。

この患者様は平成１５年３月が初診の、当時６４歳の女性です。以前インプラント治療をされた当院の患者様からのご紹介で来院されました。この患者様もインプラント治療を希望されました。

平成１５年３月　初診時の口腔内写真

とりあえず下顎の臼歯のインプラント処置と全体の補綴処置をさせていただきました。

☞

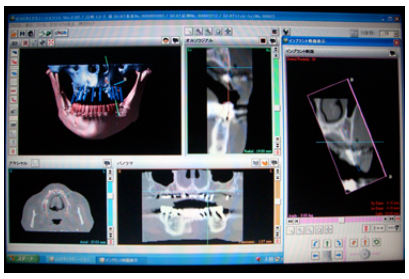
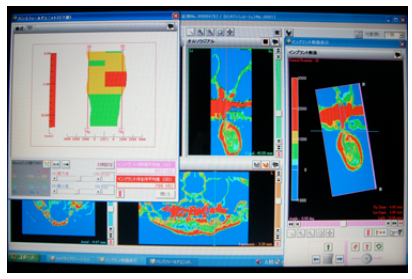
治療前　　治療後（平成１６年８月）

☞

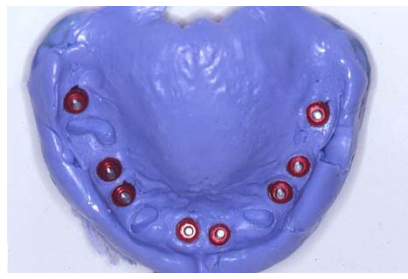
治療前　　治療後（平成１６年８月）

治療後順調にメインテナンスを続けていっていましたが、下顎のインプラントの調子がとても良いので上顎もインプラントにしたいとの申し出がありました。かなり本数が多くなり費用も高額になるので私自身、できれば避けたかったのですが、患者様の強い要望でインプラントにマグネットを使用した義歯を設計しました。

ステントを使用しインプラントの本数と埋入位置を決定

CTを撮影の後、コンピューターシュミレーションを行い、インプラントの長さや太さ、方向などを決定

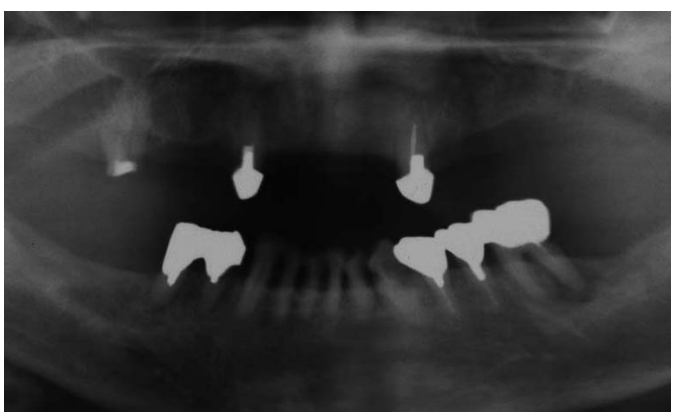


インプラントに印象用のジグを装着し精密印象を採得

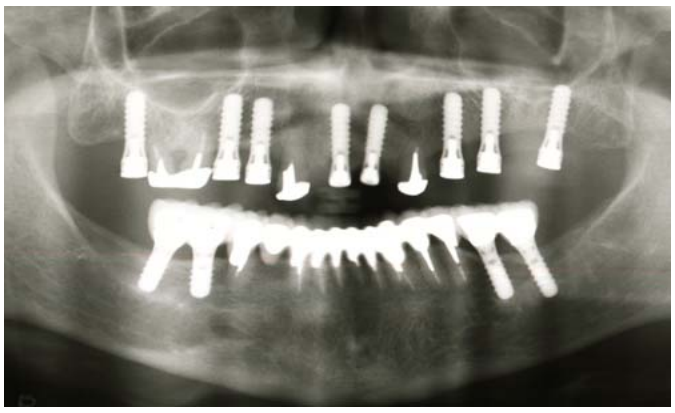
インプラントにマグネットのキーパーを装着、義歯の内面にマグネットを埋め込む

治療完了時　平成２０年２月

初診時と完了時の比較



初診時のレントゲン写真　平成１５年３月



治療完了時のレントゲン写真　平成２０年２月
下顎に４本、上顎に８本、合計１２本のインプラントが埋入されている
.
詳しくは当サイト「インプラント」のページをご覧ください。
.

他の治療例もご覧ください
村上歯科医院治療例（５）＜インプラント治療＞
村上歯科医院治療例（４）＜インプラント治療＞
村上歯科医院治療例（３）＜インプラント治療＞
村上歯科医院治療例（２）＜インプラント治療＞
村上歯科医院治療例（１）＜インプラント治療＞

投稿者 村上：15:00 | コメント (0)

2008年08月18日

♪オフィスホワイトニングサマーキャンペーン♪のご案内

前回のオフィスホワイトニング無料導入キャンペーンが好評だったため、引き続きオフィスホワイトニングの **サマーキャンペーン** を行います（＾０＾）！！

今回も**抽選で１０名**の方に**無料**でオフィスホワイトニングの**１回コース**を体験していただきたいと思います☆★
たくさんのご応募お待ちしています！！

応募期間・・・８月１８日（月）～８月３０日（土）

オフィスホワイトニングサマーキャンペーンを希望される方は、お手数ですが当院までご連絡ください！！

当ホームページの「お問い合わせ」欄に、お名前・ご住所等をご記入いただき、「お問合わせ内容」の欄に『ホワイトニング無料キャンペーン希望』とご記入のうえ送信ください。

※症例によっては、ホワイトニング出来ない場合がございます。。。あらかじめご了承ください。

オフィスホワイトニングとは？？
詳しくはこちらをご覧ください☆

投稿者 村上：12:27 | コメント (0)

2008年08月17日

村上歯科医院治療例（５）＜インプラント治療＞

久しぶりに村上歯科医院の治療例を掲載いたします。歯科関係者の皆様も患者様も、どうぞご覧ください。

この患者様は昭和６２年４月が初診の、当時５６歳の女性です。現在７７歳。すなわち患者様と私の２１年間の軌跡です。

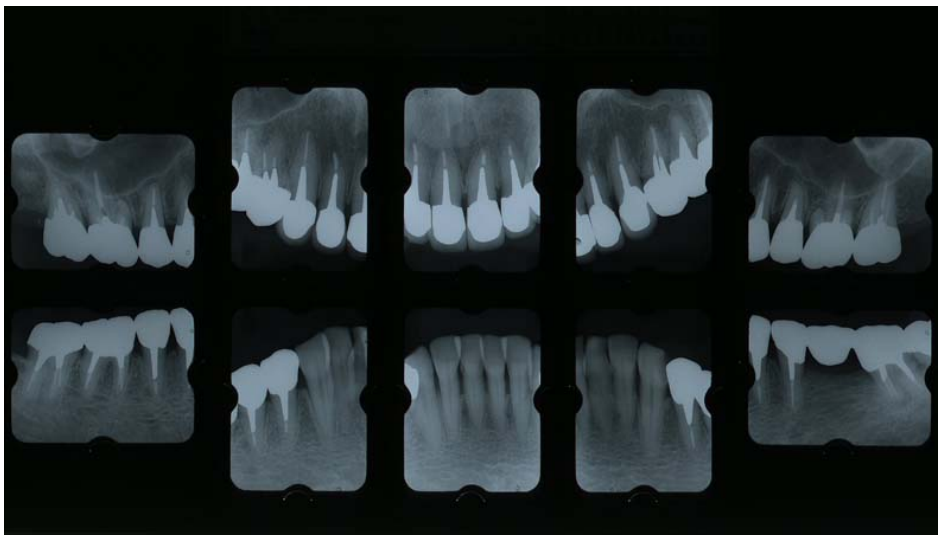
昭和６２年５月　初診から１ヶ月半の口腔内写真

患者様の主訴は歯と歯の間に食べ物がつまると言うことと、歯ぐきから出血すると言うことでした。

初診時のレントゲン写真　いわゆるバケツ冠と言われる不良補綴物が沢山入っていた

一年以上かけて全体の歯周治療、根管治療、補綴治療を行っていきました。患者様のご希望で上顎前歯部はセラミックで修復しました。

昭和６３年６月　初診から１年２ヶ月の口腔内写真（治療完了時）



昭和６３年６月　初診から１年２ヶ月のレントゲン写真（治療完了時）

その後、久しぶりに平成９年２月に来院され、以前健康保険で治療していた臼歯部を自費治療に置き換えることを希望されました。そこで約１年かけて小臼歯をメタルボンド、大臼歯をゴールドで治療をさせていただきました。

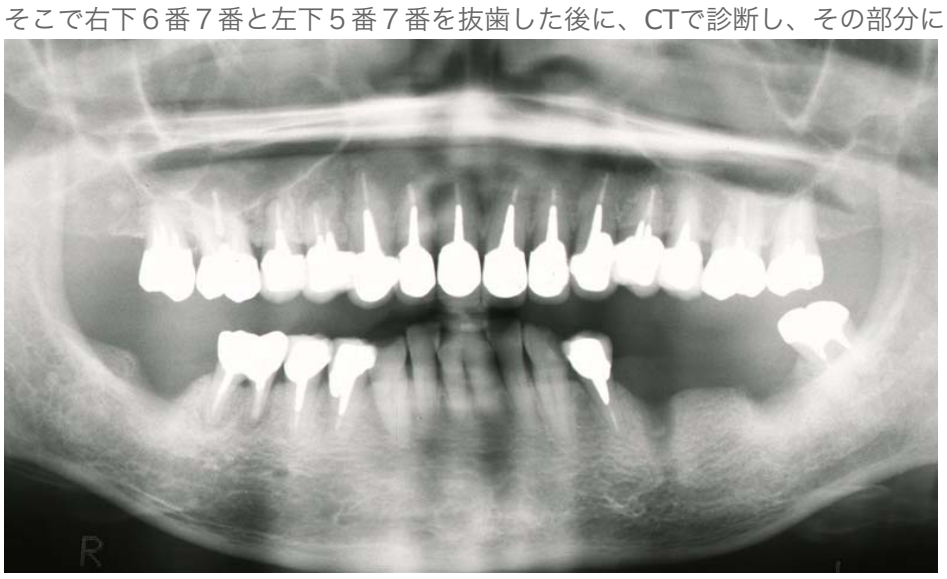
平成９年２月　初診から約１０年の口腔内写真

それから約８年後の平成１８年６月に久しぶりに来院されました。下顎臼歯部に咬合痛があるとのことでしたのでレントゲンを撮ったところ、歯根破折が疑われました。

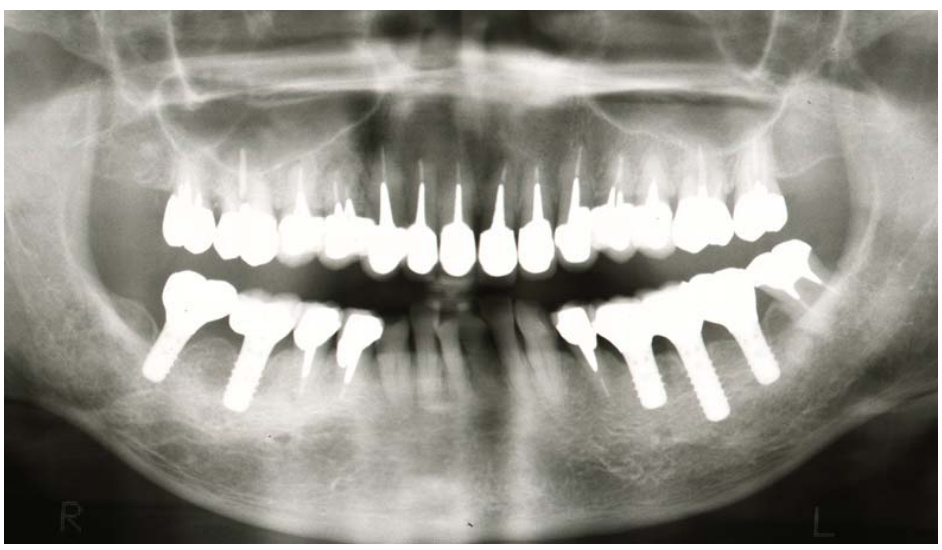
平成１８年６月　初診から１９年のレントゲン写真　右下７番と左下５番、７番に歯根破折が疑われる像が認められる

平成１８年６月　初診から１９年の口腔内写真

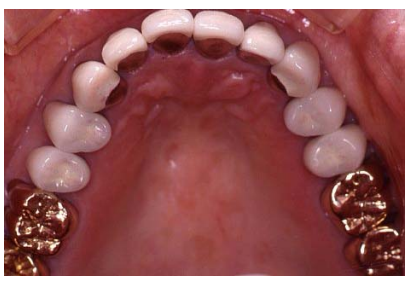
そこで右下６番７番と左下５番７番を抜歯した後に、CTで診断し、その部分にインプラントを植立しました。



下顎臼歯抜歯後のレントゲン写真　高度の骨吸収が認められる



平成２０年３月　初診から２１年のレントゲン写真



平成２０年３月　初診から２１年の口腔内写真　右下６番７番と左下５番６番７番にインプラントを殖立　上顎前歯部のセラミッククラウンは歯根の露出はあるが、当院で治療後２０年で健在

上記の症例のように歯科治療は一度完了したら一生そのまま過ごすことができるというものではありません。歯科医師はできるだけ再治療にならないように一生懸命に努力をしていますが、毎日過酷な環境の口の中で製作物が長年保たれることは稀なことと言わざるを得ないのが現状です。それにも関わらず２１年もの長い間、村上歯科医院に通い続けてくださった患者様に心より感謝いたします。
患者様と長く関わり続けることで私達は多くのことを学ぶことができます。そしてその知識を他の患者様の施術に活かすことができます。
前述のように歯科治療は皆様が考えるほど長く持たないのです。しかしトラブルが発生した時にはこの症例のようにその時点でのいろいろな対処法があります。また予防法も発達してきています。どうか皆様には歯科医院（歯科医師や歯科衛生士）と関わり続けてください。それが健康な口腔を保つ唯一の方法です。

.

詳しくは当サイト「インプラント」のページをご覧ください。

.

他の治療例もご覧ください
村上歯科医院治療例（４）＜インプラント治療＞
村上歯科医院治療例（３）＜インプラント治療＞
村上歯科医院治療例（２）＜インプラント治療＞
村上歯科医院治療例（１）＜インプラント治療＞

投稿者 村上：00:11 | コメント (0)

2008年08月07日

☆今月のアロマ☆

今月のアロマは先月に引き続き”ピーチ”です（＾０＾）！！

毎日暑い日が続いていますね（＞３＜）"お体の調子はいかがですか？？
もうすぐお盆のお休みに入られる方も多いと思います。ゆっくり休んだり、遊びに行かれたり・・・といろいろだと思いますが、夏バテには気をつけられてくださいね☆★

投稿者 村上：10:43 | コメント (0)

2008年07月28日

休診のお知らせ

誠に勝手ながら、８月１３日（水）～１７日（日）の５日間お休みとさせていただきます。

尚、８月１８日（月）からは通常通り診療させていただきます（＾０＾）”

また、８月２３日（土）は、１日診療いたします。

大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒よろしくお願い致します。

投稿者 村上：09:19 | コメント (0)

2008年07月25日

ＩＳＯの内部監査が行われました！！

７月２３日（水）の午後よりＩＳＯの内部監査が行われました（＾＾）”
今回はデンタリンクの河田先生がいらっしゃって、一緒に２時間内部監査を行ってくださいました☆

内部監査結果報告書の一部を紹介します（＾０＾）”

（監査結果）
・内部監査の結果、不適合は確認されませんでした

（コメント）
・各プロジェクトの結果が出ており、品質目標を達成するための活動の一つであることが窺えました。プロジェクトの中には、計画し実施したが効果が見られないものや、すぐに効果が表れて完了するものなど様々あると思いますが、今後も院内の現状に沿った有効な活動になると良いと思います。

・是正処置、予防処置が多く報告され、適切な処置がなされています。

以下省略・・・

これからも、村上歯科医院みんなで患者様に感動を与えられる歯科医院作りをしていきます！！
よろしくお願いします（＾３＾）

ＩＳＯ内部監査の後は、院内ミーティングを行いました（＾＾）

今回は、牧瀬先生が３日にわたって講義を受けた内容の発表がありました☆
院長とスタッフ全員で牧瀬先生の発表を聞きました。初めて聞くことも多くとても勉強になりましたよ！

村上歯科に取り入れらえるものを皆で検討して、日々の診療に活かしていきたいと思います。

投稿者 村上：10:25 | コメント (0)

2008年07月13日

ベートーベンの第九「合唱付き」に出場

半年前の話ですが、毎年１２月暮れに九州厚生年金会館で行われている「第九の夕べ」に合唱団の一員として私、村上和彦が出場しました。やっと写真が出来ましたのでご覧ください。

北九州市民フロイデコール会長でもりかわ園社長の田端　隆さんや鳥居耳鼻咽喉科院長の鳥居　浩先生のお勧めで１０年前から５年間「第九」を歌っていましたが、その後５年間中断の後、久しぶりに参加させていただきました。５年前までは無理をしてテナーのパートを歌っていましたが、今回はベースにパート替え。どうにか声は出ましたが練習不足は否めませんでした。

＜みんな一生懸命に歌っています＞

指揮者は東京から広上淳一先生が来られ、オーケストラは天下の九州交響楽団です。広上先生の指揮は素晴らしく、歌っていて音楽に引き込まれる感覚になりました。九響の演奏も素晴らしく、１楽章から４楽章の前半まですぐ側で聞くことが出来、幸せでした。ソリストはソプラノ野田ヒロ子さん、アルト渡辺敦子さん、テノール市原多朗さん、バリトンは河野克典さん。もちろん最高でした。

＜指揮の広上先生とソリストのみなさん＞

＜中央が私です。隣の背の高い方の声が素晴らしかった＞

今年の暮れも出来たら出場したいと思います。皆さん、ご興味があれば見に来てください。

投稿者 村上：19:27 | コメント (0)

2008年07月03日

日本ヘルスケア歯科研究会のセミナーに全員で出席しました！！

６月２９日（日）に福岡商工会議所で行われた、日本ヘルスケア歯科研究会の『スタッフまるごと医院を変えるワンデーセミナー』に村上歯科医院のスタッフ全員で参加しました☆☆
このワンデーセミナーはこれまでは東京と大阪でのみ行われていましたが、今回初めて九州（福岡）で開催されました＊＊
ラッキー（＾０＾）＃

”あなたの一歩が歯科医療を変える”というテーマの下に神戸の藤木先生・札幌の斉藤先生によるお話がありました！

院長とスタッフ９名で参加し、１日のセミナーを受けました。。。

ドクターも真剣に聞いています（＾０＾）＃

当日の抄録から一部分を紹介します。

健康を守り育てる歯科医療
「私たちの思いを患者さんにどのように伝えるか」藤木省三、斉藤仁

診療室に来院する初診患者を見てみると、数多くの修復がなされており、我々はこの修復の後始末に多くの時間を割いています。このことが、果たして素晴らしい歯科医療なのでしょうか。今まではう窩と明らかな歯周ポケットが見られた時点で診断し、充填、抜髄、歯周治療を始めていたが、最近では齲蝕も歯周病もその原因がわかってきており、そのため疾患のプロセスに対して早い段階で介入ができるようになりました。これがいわゆる「予防歯科」と言われるもので、日本ヘルスケア歯科研究会は修復中心だった歯科医療を自らの診療体系を予防中心に変えることで、歯科界を変えようとする開業医中心のグループです。しかし疾患のプロセスに対して早期に介入するということは今まで当たり前のように使われてきた「予防」という言葉で表すより「基本治療」と言うべきで、すべての歯科医療のベースになくてはならないものだと思います。この「基本治療」がどこの歯科医院でも適切に行われていれば、国民の多くが健康な口腔を維持できるのではないかと考えます。ではどのようにしてこの「基本治療」を行って行けばよいのでしょうか。
今までの古いスタイルの診療をやめ、新たなる診療スタイルを確立することは、口で言うのは簡単ですが、いざ実行するとなるといろいろな問題がでてきます。また長く続けていって初めて見えてくることもたくさんあります。今までの修復中心の歯科医院から健康を守り育てる予防中心の歯科医療へ急転換して８年経過した札幌の歯科医院と２０年以上こつこつ続けている神戸の歯科医院の発表で、院長、スタッフはどう変わり、医院に通う患者さんの健康はどう変わっていったのかを述べてみたいと思います。

投稿者 村上：09:49 | コメント (0)

北九州市歯科医師会歯科助手講習会で講義をしました☆★

６月２１日（土）の１４時より北九州歯科医師会の歯科助手講習会が行われました。
去年に引き続き、院長の村上和彦先生と受付の小西亜希子さん、歯科衛生士の節原いづみさんが講義をしました！！
今回は３3名の歯科助手の方が出席された中、４時間の講義を行いましたよ（＾＾）”

内容は村上先生が『歯科医療従事者のためのコミュニケーションマナー』、小西さんと節原さんは『当院におけるコミュニケーションマナー』というテーマで講義しました！！

小西さんの講義です！！

節原さんの講義です！

講義の後は、グループディスカッションを行いました！テーマは去年と同じく『自分が行きたい歯科医院☆そのために何をすればいいか』でした（＾＾）”

村上先生も歯科助手の方とたくさんお話され、チーフの飯田さんもお手伝いに駆けつけてくれました（＾０＾）

去年から２度目の講義でしたが、聞かれる方々が違うと雰囲気も全然ちがうんだな・・・という印象だったようです！！
同じ内容で講義しましたが、去年よりも少しは（？）慣れて講義しやすかったようですょ（＾０＾）”
ですが、一方で講義させていただく側として聴衆の方々を引きつける話し方をするのが難しかったようです☆★

投稿者 村上：09:37 | コメント (0)

2008年07月01日

☆今月のアロマ☆

今月のアロマは”ピーチ”です（＾＾）”

７月に入りましたね！！
早く梅雨が明けてほしいものです（>。<）

今週のお花は夏らしく明るい色がそろってますよ♪♪

今週のお花は・・・
●ガーベラ（ポンポンマーガレット）
●カーネーション
●レースフラワー
●ヒペリカム

です（＾３＾）！！

投稿者 村上：09:54 | コメント (0)

2008年06月13日

院長先生が九州歯科大学で講義されました！！

６月１１日（水）の午後より、村上歯科医院院長の村上和彦先生が非常勤講師として九州歯科大学で講義されました！
担当科目は『歯科医師入門学』というもので、２時間にわたって３年生の学生さんに講義されました（＾０＾）”

講義後に提出された学生さんのレポートの一部です（＾＾）★

●技術面の話しはもちろん、患者さんとのコミュニケーションのとり方、開業医の視点から歯科医療を向上させる心構えなど、とても勉強になりました。

●先生は本当に患者さんのことを考え、患者さんのためを思って仕事をしているのだなと感じた。

●スタッフとの連帯感が凄いなと思いました。一つ一つの工夫をしていくことで、素晴らしい病院作りが出来るのだな、と感じました。

●先生がおっしゃった「自分にしか出来ない歯科治療」をやっていけるよう、私には何ができるのか、そのために何をすればいいのか、学生のうちにしっかり考えていけたらいいなと思います。

●素人が聞いても素晴らしいと感じる歯科医院の先生だと感じた。今日お伺いしたお話では、自分も患者になりたいと感じるほどだった。

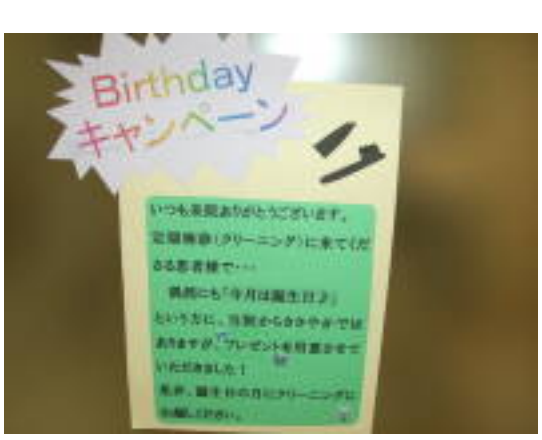
などなど、たくさんのレポートが届きましたょ！！

投稿者 村上：09:24 | コメント (0)

2008年06月10日

♪Ｂｉｒｔｈｄａｙ　キャンペーン♪

６月より**Ｂｉｒｔｈｄａｙキャンペーン**を始めました（＾３＾）”



いつも来院してくださってありがとうございます！！
キャンペーンの内容は・・・

定期健診（クリーニング）に来てくださる患者様で、
偶然にも**『今月はお誕生日♪』**という方に、当院からささやかではありますが、**●プレゼント●**を用意させていただきました！！
是非、お誕生日の月にクリーニングにお越しください（＾０＾）！！

投稿者 村上：11:50 | コメント (0)

今週のお花

今週は凄く大きなダリアがありました（＾０＾）”

キラキラなラメが付いててとっても綺麗です♪

今週のお花です（＾３＜）

ダリア☆バラ☆スターチス
です（＾＾）

投稿者 村上：11:39 | コメント (0)

2008年06月05日

衛生学院生が臨床実習に☆

九州歯科大学付属歯科衛生学院の２年生が、６月３日(火）から１２月１８（木）まで、当院に臨床実習に来ることになりました。

トップバッターの学生さんです！！

主に見学をしてもらい、一般歯科での診療を勉強してもらいます！！

どうぞよろしくお願い致します（＾３＾）”

投稿者 村上：11:53 | コメント (0)

2008年06月04日

歯医者さんから始まる禁煙への道　ｖｏｌ．２

今回は喫煙と歯科疾患についてお伝え致します（＾３＾）！

歯科疾患について・・・

『歯周病』
喫煙をすると、非喫煙者と比較して**２～６倍**のリスクで歯周病になります。しかも１日の喫煙の本数が増えれば歯周病のリスクも増加します。

その上・・・ニコチンの血管収縮作用の影響で歯肉への血流が阻害されることで、歯肉が炎症を起こしても出血が抑えられてしまいます。そのため歯周病に気がつきにくく、気がついたときには手遅れになっていることが多いです。

歯周病から全身の疾患へ・・・

●心筋梗塞・脳血管疾患
歯周病菌が体内に入ると、それが刺激となり、動脈硬化や血栓形成が起こり、血管がつまる場合があると考えられています。それが冠動脈で起これば、虚血性の心臓病になり、脳の血管内で起こると、脳卒中になります。

●肺炎
歯周病菌などの多くの病原菌が、誤って気管を通ると炎症を引き起こし、その結果肺炎になることがあります。

●早産・低体重児の出産
歯周病の炎症で出てくるプロスタグランジン(子宮の収縮などに関わる生理活性物質)などの物質の影響で早産や低体重児の出産になると考えられています。
また臍帯を通じて歯周病菌が胎児に感染すると、健全な胎児の育成を阻害する可能性があります。

●糖尿病
歯周病がひどくなると、炎症によって出てくる物質サイトカインがインスリンの血糖値を調整する働きを阻害して糖尿病を悪化させます。

『う蝕』
喫煙するとニコチンの血管阻害作用により、唾液の分泌が悪くなることで口腔内の自浄作用が弱まり、歯垢が沈着しやすくなります。
う蝕の治療跡など磨きにくいところに歯垢が沈着し、う蝕しやすくなる(二次う蝕)ので、注意が必要です。

『口腔がん』
タバコに含まれる発がん性物質や喫煙によって生じる活性酸素はがんを抑制する遺伝子を傷つけるので、がんになりやすくなります。他にも喫煙によって分泌されるアドレナリンの影響でがんを攻撃する働きが弱まることにより、がんの成長を助長することになります。

『口臭』
喫煙するとニコチンの影響で唾液の分泌が阻害され、口腔内を自浄する作用が低下するので、不快な臭いを発生させます。また、歯周炎になると、歯周ポケットから揮発性硫化物濃度が上昇し、その結果口腔から不快な臭いが発生します。

禁煙はいつでも遅くはありません！！
禁煙から

●８時間・・・動脈中に血栓ができにくくなる

●２４時間・・・心臓ホ発作のリスクが激減

●４８時間・・・味覚嗅覚が戻り、口臭体臭が消失

●２週間・・・咳が解消し薬剤の代謝が正常に

●１年・・・心疾患への危険度が５０％に減少

●１８ヶ月・・・肺の中のタールや有害物質が浄化される

●５年・・・口腔がん･咽頭がん・食道がん・肺がんの確率が半減

●１５年・・・心疾患のリスクが非喫煙者と同じになる

社団法人　日本歯科医師会　・　日本ヘルスケア歯科研究会　のパンフレットより

歯医者さんでの定期的な健診を行い、今のお口の状態を知っておくことはとても大切なことです！！

むし歯・歯周病に関しては、当サイト、虫歯・歯周病のページをご覧ください。

投稿者 村上：10:24 | コメント (0)

2008年06月03日

☆今月のアロマ☆

今月のアロマは新しく**"グレープフルーツ"**を取り入れてみました（＾３＾）
さわやかな良い香りです！！

もう６月ですね♪
日差しの強い暑いの日も多くなってきました（>。<）体調を崩しやすい時期ですので、健康管理には気をつけられてくださいね（＾０＾）！

投稿者 村上：12:26 | コメント (0)

2008年05月19日

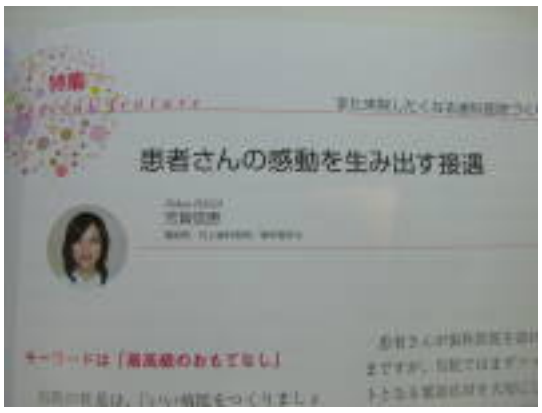
ＤＨｓｔｙｉｅに掲載されました♪

ＤＨｓｔｙｌｅの今月号（５月号）の特集として村上歯科医院で行っている接遇について掲載されました！！

『患者さんの感動を生み出す接遇』というタイトルで、当院の歯科衛生士の芳賀さんが書いています☆

５月号のテーマは**『また来院したくなる歯科医院づくり』**です。

テーマに沿って村上歯科医院で行っている歯科医院づくりを、**『患者さんの感動を生み出す接遇』**という題名のもとに書いています。



当院の社是から、思い描く理想・・・そして**「最高級のおもてなし」**というキーワードのもとに、当院みんなで取り組んで行っている事柄が書かれています。

待合室においていますので、よろしければご覧になられてください（＾３＾）

投稿者 村上：14:38 | コメント (0)

歯医者さんから始まる禁煙への道　ｖｏｌ．１

今回はタバコと口腔内、そして全身の健康に関する内容をお伝えいたします（＾＾）”

お口の病気の主なものには、むし歯と歯周病があげられます。
歯周病のリスクは３０代から急激に上昇します。しかし歯周病はむし歯と違って気づかないうちに進行し、自覚症状として出てくる頃には、手遅れとなってしまっていることが多い病気です。
その上喫煙していると、歯周病に罹患しやすいばかりか、非喫煙者に比べてさらに症状が出にくく、悪化しやすいのです。

日本歯科医師会禁煙宣言

　喫煙と無煙たばこの使用、ならびにそれに伴う受動喫煙による健康被害は、がん・心臓病等全身の健康に影響を及ぼすことが明らかになっている。喫煙は口から行われるため、口腔領域に直接影響を及ぼし、歯周疾患、口腔がん、根面のう蝕、口唇・口蓋裂、歯の喪失、歯や歯肉の着色、口臭など、その被害は多様である。
さらに、喫煙は、歯周治療、インプラント、抜歯等の術後治療に影響し、治療歯の喪失や充填物の着色など主要な歯科治療の効果にも重大な影響を及ぼす。

たばこの消費等が健康に及ぼす悪影響から現在及び将来の世代を保護するため、たばこの使用の中止及びたばこへの依存の適切な治療をすすめることは、保健医療専門職としての基本的な役割である。また、口腔領域は喫煙の悪影響と禁煙の効果を直接確認することが容易であることから、歯科保健医療専門職による喫煙対策の推進は効果的であり、国民の健康に大きく貢献できるものである。

以下省略・・・

《喫煙が与える影響》・たばこの煙には、４０００種類以上の化学物質が含まれ、そのうち**２００種類以上の有害物質**と**３７種類の発がん物質**が含まれています。副流煙は主流煙と比べ、燃焼温度が低く、フィルターを通してないため、有害な物質がたくさん含まれています。
なかでも、たばこの三大害ちなるのが「ニコチン」「タール」「一酸化炭素」の３つで、口腔にも大きな影響を与えます。

(たばこの三大害)
・ニコチン
・・・体内に入ると、末梢血管の収縮を引き起こす。その影響で歯周組織の血流が悪化し、十分な栄養や酸素を供給することが困難になる。
・・・唾液の分泌量が下がることもあり、細胞が繁殖しやすくなる。
・・・依存性があり、一定期間喫煙を続けるとニコチンを吸収しないと、いらつき・不安などの感情が出る。(ニコチン依存症)

・タール
・・・発がん性物質である。
・・・独特の臭気をもつ。

・一酸化炭素
・・・血液中のヘモグロビンとっ結合することで、末端組織が慢性的な酸素欠乏に陥る。

《喫煙の健康への影響》
口腔および咽頭・がん・歯周病

脳・脳卒中・脳梗塞

心臓・冠動脈疾患・心筋梗塞・狭心症

喉頭および気管・がん・炎症(咽頭炎)

食道および胃・がん・消化性潰瘍

肺・がん・肺気腫・気管支炎

膵・がん

膀胱・がん

子宮および卵巣・不妊・自然流産・胎児発育の遅れ・早期閉経・子宮頸がん

骨・骨粗鬆症・精巣・生殖能力低下

末梢動脈・末梢血管疾患・動脈硬化

《喫煙は歯周病の原因となる》
　たばこの煙の主成分であるニコチンの血管収縮作用と一酸化炭素の血液の酸素運搬能の阻害作用により、血流の悪化･唾液分泌の低下が起こるなどの理由により、細菌が増え、歯周病に罹患しやすくなります。血流悪化の影響で栄養が不足がちになり、歯周組織を再生させる能力も低下するため歯周病は悪化しやすくなります。

　受動喫煙の場合にもメラニン色素沈着などの症状が見られます。

　また、胎児にも影響があるので、妊娠中は非喫煙者でも注意が必要になります。

次回は喫煙と歯科疾患についてお伝えいたします☆

投稿者 村上：14:27 | コメント (0)

2008年05月02日

☆今月のアロマ☆

今月のアロマは**”ジャスミン”**です（＾＾）

やっと暖かい日が続くようになりましたね☆★・・・というより急に暑くなってきましたね（＾＾；）

体調を崩されないように気をつけられてくださいね！！

村上歯科医院スタッフも健康に気をつけて連休明けからも頑張ります（＾＾）”

投稿者 村上：09:40 | コメント (0)

休診のお知らせ

誠に勝手ながら、５月３日（土）～５月６日（火）までの４日間お休みさせて頂きます。。。

尚、５月７日(水）からは、通常通り診療致します。
（７日は水曜日ですが午後も診療いたします。）

大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒よろしくお願い致します。

村上歯科医院　院長　村上和彦

投稿者 村上：09:32 | コメント (0)

2008年04月21日

♪歓迎会♪

４月１８日に新しく村上歯科医院に仲間入りした、末廣さんの歓迎会を行いました！！

小倉北区のとあるお店で、歓迎会を行いました（＾０＾）”
たくさん食べて・・・たくさん飲んで・・・たくさんおしゃべりして、とても楽しい歓迎会となりました（＾３＾）／

院長の和彦先生と（＾＾）＃

末廣さんより一言★
『早く慣れて先輩たちみたいに仕事できるように頑張ります！』

みんなで盛り上がって楽しい歓迎会となりました（＾０＾）”

投稿者 村上：17:05 | コメント (0)

2008年04月19日

☆台湾研修旅行☆

遅くなりましたが・・・３月１９日（水）～２１日（金）に行って来ました、台湾の研修旅行の報告をいたします♪ 研修旅行後に、院長先生に提出した報告書の中からお伝えします♪♪♪ ☆台北の３日間研修旅行☆ **《１日目》**・・・台北に到着してすぐに、”お茶セミナー”と称する日本人向けのセミナーへ 台湾の方の迫力にスタッフ全員ちょっと日本が恋しくなりました（＾＾；）

・・・その後市場へ行ってドーナッツやかき氷などを食べました！(おいしかったです！！)

・・・夜は小籠包のおいしいお店へ（＾０＾）

《２日目》・・・故宮博物館や足つぼマッサージなどツ

アーで有名所をまわりました！

・・・夜は有名な夜市へ（＾＾） **《３日目》**・・・千と千尋で有名な九份へ ここでもお茶の美味しいお店で、美味しいお茶を入れてもらいました！！日本とは違った入れ方にびっくりしました。 ・・・その後最後のお土産を買いながら、、、恋しい恋しい日本へ

☆★☆★ **《研修旅行で学んだこと・感じたこと》** ●飯田●笑顔の人を見るとホッとするし、気分が良くなるので、自分も笑顔の素敵な女性になろう！！と思いました。 ●芳賀●今回の２泊３日の研修旅行の中で、色々な職種の人に出会いました。言葉は通じなくても、表情や言葉のスピード、身だしなみで、ずいぶん受ける印象が違うんたなぁと改めて感じました。 ●朝弘●日本では、当たり前のような接客でも、台湾では少し違っていたりと・・・実際に自分がお客さんの目線でどう感じるのか体験し考えることが出来て、良かったと思いました。 ●行村●日本の接客の良さを改めて感じました。村上歯科医院も患者様に安心していただける場所になりたいなぁと思いました。 ●節原●人から見られているということに普段もう少し意識を向け、品の良さを出していきたいと思いました。”笑顔”っってやっぱりすごく大切だなと改めて思いました。 ●逸木●第一印象はとても大切☆最初に感じる雰囲気で相手をどれだけ信用してみようか・・・という気持ちが決まるように感じました。 ●小西●コミュニケーションの重要性を改めて感じました。相手が喜んでくれる内容、会話がはずむ内容などが良い！と思いました。 ●進●言葉のコミュニケーションが出来ないときは、表情で感情を示すことが多く、表情でのコミュニケーションの大切さを実感しました。 ●牧瀬●やはりにおいは大切だと思いました！！ ●前田●スタッフみんなで色々体験することで、たくさん会話をし、団結力や連帯感を強められたように思いました。

投稿者 村上：09:36 | コメント (0)

2008年04月15日

お口の健康は長寿の秘訣　ｖｏｌ.2

今回は、「おいしく、楽しく、安全な食生活を送るためには・・・？」の続きで、お口の働きの豆知識についてお伝えします。

お口の働き　豆知識

唾液のはたらきには・・・物を食べたり飲んだりしやすくする作用や、歯や粘膜を外傷から守る保護作用、お口の中の洗浄作用、味覚に関わる溶媒作用などがあります。

お口の健康にとって大切な唾液ですが・・・唾液は**いつまでも十分にあるわけではありません。**様々な原因によって、唾液の量が減ってしまうことがあります。

その原因として・・・薬の副作用・放射線治療の副作用・全身の病気・加齢・ストレス・咀嚼回数の低下・舌や顔面の筋力の低下

唾液が減ってくると、**二次的に様々な影響**が出てきます！

●**口腔乾燥症**・・・唾液の保湿作用が現象しますから、お口が乾燥します。

●**味覚障害・舌痛症**・・・粘膜を保護する作用も減少しますから、食べ物の味しなくなったり、お口の中がピリピリすることもあります。

●**感染症**・・・唾液の抗菌作用が失われ、お口の中を綺麗にしてくれる作用も減少しますから、むし歯や歯周病にかかりやすくなります。ひどくなると、舌やお口の中の粘膜にカビが生えてしまうこともあります。

●**誤嚥性肺炎**・・・お口の中の細菌が増えるので、風邪や誤嚥性肺炎を起こしやすくなります。
↓

誤嚥性肺炎とは・・・？食べ物や唾液、口腔や咽頭の細菌、逆流した胃液や胃の内容物が誤って気道(肺までの空気の通り道)へ入ったことによって起こる肺炎のことです。
高齢期になると、飲み込む機能が衰えるため、誤嚥性肺炎にかかりやすくなります。

誤嚥性肺炎の予防のポイント
○口腔ケアをしっかりとして、口腔内を清潔にしましょう。
○食事の際の姿勢、一口量や食べるペースにも気を配りましょう。
○食事の後すぐに横になったりすることも、逆流性食道炎や誤嚥の原因となります。
○飲み込みやすい調理の工夫をしましょう。

お口の働きを維持するためには・・・？

セルフケア
ご自身でのお口のお手入れ
・毎日のお手入れ
毎食後、就寝前に効果的な歯磨きをすることです。お口の清掃にはまず、お口に合った歯ブラシで正しく磨くことが大切です。
入れ歯を使用されている方は、食後や就寝前に歯を磨くと同時に入れ歯を洗って清潔にすることが大切です。かかりつけの歯科医院で指導を受けましょう。

プロケア
専門家によるお口のお手入れ
・まずは、むし歯や歯周病、歯が抜けた状態のままにせず、治療しましょう。
そのまま放置すると、噛めないことでお口の状態は、知らないうちに悪化するばかりです。またそれに伴い、お口の働きも低下してきます。
歯科医院は治療のみではなく、**予防・メインテナンスも行っていきます**。
かかりつけの歯科医院で、**定期健診や、歯のクリーニング**をしてもらいましょう。

～北九州市・社団法人北九州市下歯科医師会のパンフレットより～

投稿者 村上：17:21 | コメント (0)

2008年04月10日

お口の健康は長寿の秘密　ｖｏｌ．１

近年健康な高齢者の方々も随分増えてきていますが、食べる機能の低下が全身の機能にも影響することがわかってきました。いつまでも豊かな心を持ち、幸せな人生を送るためにも、お口の健康は、皆さん自身で保つ必要があります。

今回は、「おいしく、楽しく、安全な食生活を送るためには・・・？」についてお伝えします！！

・・・お口の働きとは・・・

１、食べる・味わう
よく噛んで食べると・・・消化促進、脳細胞の活性化、唾液がたくさん出ることにより口腔内を清潔に保つ・虫歯や歯周病を防ぐ・より一層おいしく味わえる、などの効果がある。

２、話す・歌う
脳への刺激、お口や舌やお顔の筋肉の運動、肺の機能を高める、ストレス解消

3、表情・若さを保つ
表情をつかさどる筋肉は食べるために使う筋肉とつながっており、お口の働きを維持することは、若さを保つ秘訣の一つ！

・・・お口の働きセルフチェック・・・

次のうち１つでも当てはまるものがある方は、お口の働きが多少弱ってきているかもしれません。

- □ 半年前に比べて固いものが食べにくくなった
- □ 食事に時間がかかるようになった
- □ 食事中に時々食べこぼしがある
- □ お茶や汁物等でむせることがある
- □ 食事中や食後に喉がゴロゴロする
- □ 口の渇きが気になる
- □ パサパサしたものが食べにくい
- □ ブクブクうがいができない
- □ 口を大きく開けにくくなった
- □ 言葉が聞きとりにくいと言われたことがある

□　口臭が気になる

お口の機能が低下すると・・・

お口の中が汚くなる
　　↑
（唾液の量が減る）　　・・・食欲がなくなる
　　↓
食べたり飲んだりしにくくなる

●人と話すのがいやになる
●何事にもやる気がなくなる
●体の抵抗力が落ち、誤嚥性肺炎やインフルエンザにかかりやすくなる

～北九州市・社団法人北九州し歯科医師会のパンフレットより～

何でも食べられて食事に不自由しないということは、長生きの秘訣です！！

次回はお口の健康を保つために必要な唾液のお話等をします（＾＾）”

投稿者 村上：09:34 | コメント (0)

2008年04月07日

今週のお花

今週のお花は

・バラ(カルーセル)
・スイトピー
・マーガレット
です（＾＾）”

バラがとっても綺麗でしたよ♪

お花の置いてある近くの席は特等席ですね（＾０＾）

投稿者 村上：09:26 | コメント (0)

2008年04月03日

☆今月のアロマ☆

今月のアロマは、前半は"桜(ｃｈｅｒｒｙ　ｆｌｏｗｅｒ)"にしてみました！！そして、桜の終わる頃には、"ｐｅａｃｈ"の予定です（＾３＾）"

皆様、お花見にはいかれましたか？？☆★
今年も桜は凄く綺麗ですね（＾３＾）
スタッフもお花見に行って、癒されてきましたよぉ♪♪♪

投稿者 村上：17:06 | コメント (0)

2008年04月01日

♪新しい仲間♪

４月１日より新しく歯科衛生士の末廣さんが村上歯科医院に仲間入りしました（＾０＾）！

３月に卒業されたぴかぴかの歯科衛生士さんです☆☆

プロフィール

♪名前・・・末廣　愛美(すえひろまなみ)

♪生年月日・・・Ｓ６２．８．２５

♪趣味・・・音楽を聴くこと

♪血液型・・・Ａ型

♪目標・・・早く慣れて、患者様の相談にのれるような歯科衛生士になりたいです。

院長から一言

☆一日も早く患者様に愛される立派な歯科衛生士になってください。期待しています。

（＾０＾）九州歯科大学附属歯科衛生士学院を卒業したばかりの歯科衛生士が入社しました！今後ともスタッフ一同よろしくお願い致します！！

投稿者 村上：16:16 | コメント (0)

2008年03月28日

☆オフィスホワイトニング無料導入キャンペーン☆抽選発表☆

たくさんのご応募誠にありがとうございました（＾０＾）！
抽選の結果が出ましたので、ご報告いたします☆☆☆

抽選の結果、５７名の方のご応募の中から、下記の１０名様が当選しました！！（順不同）
おめでとうございます（＾３－）"

Ａ．Ｎさん　２０代　女性	Ｔ．Ｕさん　２０代　男性
Ｈ．Ｎさん　２０代　女性	Ｍ．Ｍさん　３０代　女性
Ｙ．Ｍさん　３０代　男性	Ｈ．Ｋさん　４０代　女性
Ｓ．Ｎさん　４０代　男性	Ｙ．Ｓさん　６０代　女性
Ｙ．Ｙさん　６０代　女性	Ｙ．Ｍさん　６０代　男性

尚、抽選にはずれた４７名様には『ホワイトニング１回コースの半額券』を贈呈しています（＾＾）
この機会に是非、ご利用ください☆★

投稿者 村上：10:24 | コメント (0)

2008年03月18日

☆ホワイトニング無料導入キャンペーン終了のお知らせ☆

３月４日（火）から行っていました**オフィスホワイトニング無料導入キャンペーン**の応募は３月１８日（火）を持ちまして終了とさせていただきます（＾０＾）
たくさんのご応募ありがとうございました♪♪

尚、結果は来週中にはご報告いたしますので、楽しみにしていてくださいね（＾３＾）

投稿者 村上：13:59 | コメント (0)

2008年03月17日

ＩＳＯの外部監査が行われました！

３月１１日（火）に当院の取得している**ＩＳＯ９００１**の外部監査が行われました。
審査員として、ビューローベリタスジャパン株式会の主任審査員の方が来られ、午前中いっぱいを使って監査してくださいました。

半年に１度いつも行っている内部監査とは違い、今回は約３年に１度行われる外部監査です。前回は当院がＩＳＯ９００１を取得した約３年前に行われました。

外部監査は、当院でたてた目標に向かってスタッフが皆同じ方向をむいて取り組んでいるか、院内がきちんと機能しているか、目標を達成するために日々行っていることで中断されたものはないか・・・などを審査員の方が、審査してくださいます。

不適合となることはなく、無事に終了しました（＾０＾）！

これからも、村上歯科医院はスタッフ一同、力を合わせて患者様の幸せを実現するために頑張って参ります！！
よろしくお願い致します☆☆

投稿者 村上：17:25 | コメント (0)

2008年03月13日

お休みのお知らせ

誠に勝手ながら、３月１９日（水）～２１日（金）の３日間、院内研修旅行のためお休みさせていただきます。
尚、３月２２日（土）からは通常通り診療させていただきます。
よろしくお願いいたします（＾＾）”

投稿者 村上：16:54 | コメント (0)

2008年03月08日

♪オフィスホワイトニング導入無料お試しキャンペーン♪のご案内

当院では、以前からホームホワイトニングを行っていましたが、多くの患者様の声にお応えし、平成２０年４月１日よりオフィスホワイトニング『ビヨンドシステム』を導入することにいたしました♪

それに先立ち、皆様にオフィスホワイトニングを知って頂くため、**１回コース(１５、７５０円)を抽選で１０名様**に**無料で**体験していただきたいと思います！！
たくさんのご応募お待ちしております（＾＾）

応募期間・・・３月４日（火）～３月１８日（火）

オフィスホワイトニングの導入無料お試しキャンペーンを希望される方は、お手数ですが当院までご連絡ください！！
当ホームページの**「お問い合わせ」欄**に、お名前・ご住所等をご記入いただき、**「お問合わせ内容」の欄**に『ホワイトニング無料キャンペーン希望』とご記入のうえ送信ください。

※症例によっては、ホワイトニング出来ない場合がございます。。。あらかじめご了承ください。

オフィスホワイトニングとは・・・？
歯科医院で行われるホワイトニングのことです。ホワイトニング剤に光を当てることにより行われ、短時間で治療が済み、いち早く効果が実感できま

す。忙しい方や、面倒くさがり屋さんにピッタリのホワイトニング方法です（＾３＾）♪

当院のスタッフも体験しました！！

オフィスホワイトニングに用いる**「ビヨンドライト」**は、パワーの強いハロゲン光を使用し、特許済みの特別なフィルターでこの強いパワーは維持しつつ、熱を抑制していますので、非常に安全です（＾ｖ＾）

投稿者 村上：11:39 | コメント (0)

2008年03月06日

☆今月のアロマ☆

今月のアロマは”ジャスミン”です（＾０＾）ジャスミンは去年の１０月以来です！

早く暖かくなってほしいですね。。。季節の変わり目、体調を崩さないように気をつけてください（＾３＾）

♪ジャスミンの香りの効果は♪
・心のリラックス効果
・神経や情緒を穏やかにしてくれる
・自信喪失を改善
・活力をもたらす
・ホルモンバランスを整える
・のどの痛みを和らげる
・声枯れを好転

投稿者 村上：10:34 | コメント (0)

2008年03月05日

勉強会へ行ってきました！！

３月２日（日）に行われた『第３２回北九州歯学研究会発表会』へ行ってきました（＾＾）”
今回は九州大学の百年講堂で行われ、”根尖病変と骨縁下欠損”というテーマでした。たくさんの参加者がおられ、私たちスタッフはモニター室で講演を聞くことが出来ました。

村上和彦先生は今年は午前中の前半の座長をしました（＾０＾）

今回の講演は**”根尖病変と骨縁下欠損～開業医としての歯牙保存へのこだわり”**というものでした！

それぞれの先生の、少しでも患者様のためになる治療を・・・という患者様への想いを知ることが出来ました（＾＾）”たくさんの先生方の**こだわり**を知れて、日々診療に共に携わる者として感動を覚えました！！

あたりまえを当たり前に続けるとこの大切さ
院内全体で情熱をもつ
当院にあるこだわりを共有する
基本を忘れず、進化を目指す
効率化よりも丁寧さ完璧さが必要
情熱と正直な気持ちをもって患者様と接する
「こだわる」ことで「学ぶ」ことが出来る

などなど、たくさんの事柄を学ぶことが出来ました（＾＾）”
これからも、村上歯科医院一同、力を合わせて患者様の歯を守るため頑張って参ります！！

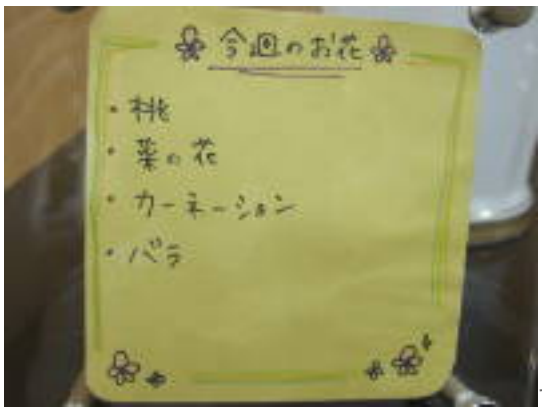
投稿者 村上：10:51 | コメント (0)

2008年02月26日

☆今週のお花☆

今週のお花には、カワイイ桃がありました（＾３＾）”まだ蕾なので花が咲くときが楽しみです♪♪

今週のお花は



です（＾＾）”

桃

菜の花
カーネーション

バラ

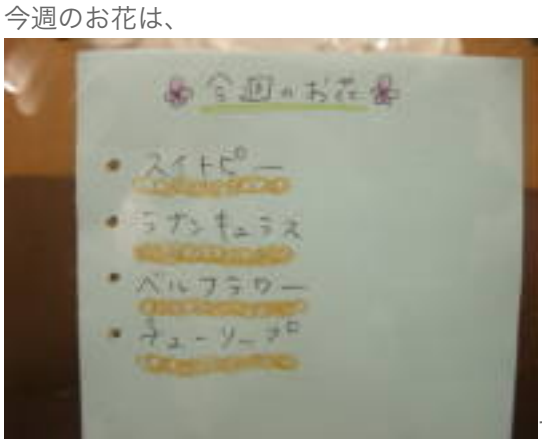
投稿者 村上：17:25 | コメント (0)

2008年02月13日

☆今週のお花☆

今週のお花はスイトピーやチューリップなど春らしいお花です♪スイトピーの香りがとっても良いですよ（＾０＾）”

今週のお花は、



です（＾３＾）♪

(スイトピー)
(ラナンキュラス)
(ベルフラワー)
(チューリップ)

投稿者 村上：09:33 | コメント (0)

2008年02月01日

☆今月のアロマ☆

今月のアロマは”Ｃｈｅｒｒｙ Ｆlower”(桜)です♪
一足早く村上歯科医院は、桜の香りで春気分です（＾＾）”
桜？・・・と思ったのですが、すごくいい香りで、スタッフ一同癒されています（＾３＾）♪

寒い日が続きますね（>。<）”
皆様風邪ひかれてませんか？？はやく暖かくなって欲しいですね！！

投稿者 村上：09:15 | コメント (0)

2008年01月30日

ＩＳＯの内部監査

１月２３日(水)に内部監査が行われました。

今回もデンタリンクの社長、相川先生が来てくださって２時間の話し合いをしましたよ（＾＾）”

今回の話し合いは、村上歯科医院の目標についてや、村上歯科医院をより患者様に満足していただける歯科医院にしていくめに、前回の内部監査(７月)から月々の院内ミーティングで話し合って改善してきた点などを、相川先生に確認していただき、アドバイスしていただきました（＾Ｏ＾）！

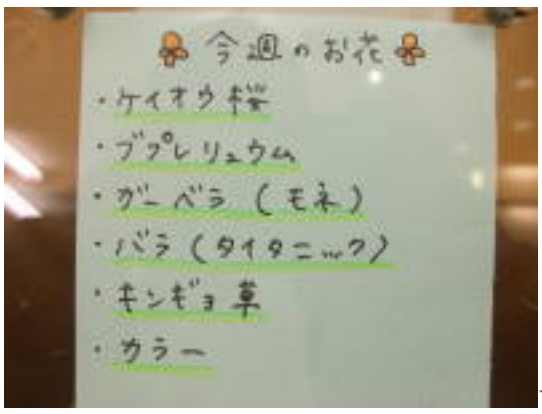
その後は、残りの２時間で院内ミーティングを行いました☆

投稿者 村上：09:17 | コメント (0)

☆今週のお花☆

当院では、毎週お花を飾っています（＾＾）”
今週のお花には、早くも桜が仲間入りしましたよ♪

今週のお花は・・・



です（＾３＾）

(ケイオウ桜)
(ブプレリュウム)
(バラ(タイタニック))
(キンギョ草)
(カラー)

患者様もスタッフも診療の合間にお花を見ては癒されています♪

投稿者 村上：09:06 | コメント (0)

2008年01月22日

１００キロウォークの感想文集♪

去年の１０月に行われた”行橋～別府の１００キロウォーク”の感想文集が届きました！！

村上先生はボランティアで参加され、ゴールテープを持っていました（＾０＾）”写真も載っています☆
参加したスタッフは残念ながら載っていませんが、たくさんの写真などもあり１００キロウォークの凄さを感じられました（＾＾；）
待合室に置いていますので興味のある方は、是非読まれてみてください♪♪

投稿者 村上：14:04 | コメント (0)

2008年01月21日

☆患者様からのお手紙☆

長期にわたって通院してくださり、去年の１２月に治療を終えられたMさんに、通院されて・・・の感想を書いていただきました（＾＾）”

《当院に通院されて良かったこと、嬉しかったことはありましたか？》
・以前は他の病院(３件位)に行きましたが、今回家族に勧められて貴院に通い、本当に良かったと思います。
何よりも院長先生の技術の素晴らしいことに感動に近いものを覚えました。衛生士の方々の施術も丁寧で良かったです。

《当院の歯科医師、スタッフの対応はいかがでしたか？》
・いつも明るく対応いただき、皆さんであいさつしてくださったのが、とてもよかったと思います。

《当院に通院されて、悪かったこと、改善すべき点がありましたらお書きください。》
・特にありません。

《その他、歯科医師やスタッフへ伝えたいことがございましたらお書きください。》
・待合室の掲示物などに工夫をこらし、手作りの温かいものが多いのも目を引きました。
・お花や香りもうれしかったです。
・アンケートを定期的に取り、改善すべき点がないかどうか、前向きの姿勢が感じられ、ますます素晴らしい病院になる気がします。
・これからもずっと通い続けますので、どうぞよろしくお願いいたします。

院長をはじめ、私たちスタッフもこのような温かいお手紙を頂き大変嬉く思いました（＾Ｖ＾）、そしてこれからも患者様に満足していただける医院であり続けられるように一層努力していこう！！と思いました☆

投稿者 村上：14:00 | コメント (0)

2008年01月14日

「日本歯科評論」１月号に院長先生の論文が掲載されました☆★

テーマは「患者様が真に望む歯科医療の実践～村上歯科医院の変化を追う」です。院長の村上和彦先生が日頃患者様にどのような思いで接しておられるか、また私たちスタッフに対してどう考えて育ててくださっているかが手にとるように解る内容でした（＾＾）♪
全文を掲載いたします！！かなり長いですが、ご興味のある方は是非読まれてください（＾３＾）”

本稿は，平成19 年７月に開かれた第48 回日本歯科医療管理学会総会の特別講演２「何をきっかけに，どう変わっていったか―私の診療所の場合―」を，改めて書き下ろしていただいたたものです．＜編集部＞

はじめに

このところメ景気が回復基調にあるモ という記事がエコノミストの予測として新聞紙上を賑わせている．また，大都市の地価はバブル期の高騰の兆しが再燃しそうな勢いだそうだ．一方，私たち歯科業界はどうであろうか．歯科医師過剰問題や医療費の患者負担割合の増加，それに加え平成18 年４月の診療報酬改悪などにより，経営面でますます厳しい事態を強いられているのは当院だけだろうか．

この状況を打開するためにはどうすればよいのだろうか．それには，歯科医療の最前線を担うわれわれ一般開業医が患者様に信頼され尊敬される地道な努力を続けることに尽きる，と私は考えている．

私は，大学を卒業して30 年目になる一般開業医である．私の卒業当時は，「歯科技術を研鑽することが素晴らしい歯科医師になる唯一の道である」と教えられた．そして，それをかたくなに信じ，歯科技術の習得に励んできた．

しかし，ある時期からそのような考えに疑問を感じるようになってきた．それは，私の歯科医院に通って来てくださる患者様が「いい顔をしていない（幸せになっていない）」ということを感じるようになってきたからだ．これは，学会やスタディーグループでの発表のための良い症例をつくることを最優先にし，患者様の気持ちをおろそかにしていた結果だと反省したが，このとき，「技術を追求することだけでは患者様を幸せにできない」ということを真に痛感したのである．

そのことに気づいてからは，「患者様が幸せな状態になれる歯科医療とはどのような歯科医療だろうか」「患者様に愛される歯科医院とはどのような歯科医院だろうか」ということをスタッフと共に考え続け，改善を図ってきた．そしてその結論が，患者様が真に望む歯科医療を実践することであり，患者様と長く関わり続ける歯科医療を実践していくことであった．その結果，少しずつではあるが「いい顔をしてくださる患者様」が増えてきた．また，それに伴い，私自身もメ歯科医療を通じて社会に貢献できているモ という実感を抱けるようになってきた．

本稿ではこのような経験から，私の反省を含め，当院の変化の軌跡をご紹介したい．

I. 臨床歯科医としての私の軌跡

私は歯科大学を卒業後，５年間開業医に勤務したのち，北九州市小倉北区の父の歯科医院へ戻った．そして５年後に，その歯科医院を親子継承した．当院は小倉の中心街のオフィス街のビル内にあり，ユニット７台，スタッフは歯科医師４名（うち１名は父であるが，現在は診療していない），歯科衛生士６名，受付２名，滅菌専属パート１名で，１日の平均患者数は約50 名，１月の平均患者件数は約450件という，中規模の歯科医院である．

福岡県には歯科大学と大学歯学部が合わせて３校あり，東京都，大阪府に次ぐ歯科医院の多い県で，かつ北九州市小倉北区は歴史の古い九州歯科大学のお膝元ということもあり，歯科医院の激戦地である．それに加え，北九州市はいわゆる「鉄冷え」で，かつて百万都市であった人口も現在では100 万人を切り，なお減少傾向にあり，企業の支店の多くが福岡市にある福岡支店に合併統合され，北九州市から退去．街全体が活気を失って久しい．

幸い，当時父の歯科医院では，父を慕ってたくさんの患者様があふれるほど来院され，毎日多くの感謝の言葉を耳にした．治療自体は外れたクラウン・インレーの再装着や義歯の修理など，いわゆる対症療法的な治療が中心であったが，今にして思うと，あれ（感謝の言葉の飛び交う状況）が医療の原点ではないかという気がする．

しかし，当時の私はそのような医療に満足できず，焦りと不安の日々を過ごしていた．ちょうどその頃，北九州歯学研究会というスタディーグループに出会い，先輩諸氏のご指導をいただき，研鑽を積み，その結果，まがりなりにも人前で講演をしたり歯科雑誌に執筆できるようになってきた．また，海外の学会での発表の機会をいただいたり，大学の同窓会や県歯科医師会の学術講演会の講師なども務めるようになっていった．しかし，これらのことは未熟な私の驕りにも繋がっていったのである．

II. 立ちはだかった壁

それまでは，来院してくださるすべての患者様に全力で打ち込み頑張ってきた．しかし患者様が増えるに従い，それが物理的に不可能になり（当時，歯科医師は私と父の２名であった），自費治療の患者様を優先せざるを得なくなってきた．また，視野の狭い私は，研修会で新しい技術を習得してくるたびに，それを行うことがメ患者様のために最善だモ と信じ，患者様の社会的，経済的立場も考えず，インフォームドコンセントの名の下にその技術を患者様に押し付けていった．今思えば，その当時はメ患者様の訴えをじっくり伺うモ ということもしていなかったように思う．

当然のことながら，この時期を境に患者様が少しずつ減り始めた．しかし，自費の患者様をじっくり治療することができるということを理由に，患者数の減少はあまり気にかけないようにしていた．そうこうしているうちに数年が経過したが，ふと気がつくと明日のアポイントノートを埋めることさえできない状況になっていた．それと同時に，当院の患者様が「いい顔をしていない」ことを様々な場面で感じるようになってきた．

鈍感な私はこの時期に至ってはじめて大きな危機感を抱き始めた．患者数の減少のみならず，歯科医師過剰時代の到来の予感，それに加えて，年々確実に衰えていく自分自身の体力への不安も抱いた．そしてインターネットの普及である．それまでは医療機関の評価は医療関係者がするものであったが，これからは患者様自身が情報を収集し評価する時代だという事実などなどから，メどうにかしないと大変なことになるモ と感じ，自分自身の自己改革を含め，いろいろと新しい取り組みを始めるに至った．

III. 解決への道

まず，友人の勧めで藁をもすがる想いで，ある自己啓発セミナーに参加した．そこでは自分自身の人間性について改善すべき点をたくさん気づかせていただいた．何のために生きているのか，何のために，誰のために歯科医師をしているのかなどを，初心に返って考える機会になった．そして，明確な目標を設定し，それを文章化し全スタッフに周知する必要性を学んだ．

そこで当院の社是を「いい病院をつくりましょう」とし，当院の在りたい姿として「１．患者様に心から喜んでいただける歯科医院　２．患者様があふれるほど来院していただける歯科医院　３．患者様に思いやりをもった暖かい歯科医院　４．患者様と明るい会話の弾む歯科医院　５．整理整頓，清掃された清潔な歯科医院」の５つを掲げ『最高級のおもてなし』をキーワードとして，スタッフと共に取り組んでいった（図１）．

いわゆる「患者様を中心とした歯科医療」「接遇を大切にした歯科医療」を実践していったのである．そして，上記の目標達成度の目安を「患者件数」とした．「いい医院」であるかどうかを数値として表すのは難しいことから，メ患者数が増えることが患者様の満足度を反映しているモ と考えたからである．そのためにエクセルを活用し，当院の経営状況をグラフ化し，スタッフと共に観察することも始めた．

そのほか，スタッフとの情報の共有のために朝礼を開始した．これは以前から必要であるとわかってはいたが，私の「人前で話をするのが嫌いだ」という個人的な理由で残念ながら行ってこなかった．ある経営セミナーで知ったことだが，倒産する企業は，ただ単にメ当たり前のことモ を当たり前にしてこなかった企業だそうだ．朝礼にしても今思えば当たり前のことだったのだと思う．診療前にその日来院してくださる患者様の体調の善し悪しや，前回の治療の情報，新患の患者様の情報や紹介してくださった方の情報など，医療機関として『最高級のおもてなし』のためには必要不可欠なことである．この朝礼によって，スタッフとの情報交換や患者様の貴重な情報などを共有することができるようになってきた．それと同時に，医院経営者としての私の理念をスタッフに語り続ける場ともなった．

その他，患者様の情報を共有する手段として「患者様覚え書きカルテ」をつくり，患者様との会話の内容や気づいたことなどを来院ごとに記入していった（図２）．そのカルテをすべてのスタッフが事前に目を通すことにより，患者様とのコミュニケーションを図ることに役立てていった．

また，それまでは受付専任のスタッフをおいていなかったが，患者様の接遇を優先するという観点から，ビジネススクールから受付専任スタッフを雇用した．このことも，一般の病院やサービス業では当たり前のことなのではないだろうか．今では受付は２名になり『最高級のおもてなし』という当院の理念を実践する中核的存在となった．

さらに，スタッフ全員で接遇のセミナーや予防歯科の講演会，カウンセリングのセミナーなどに参加するようにもなった．ただスタッフだけを参加させるのではなく，私もできる限り一緒に参加するようにしている．このことにより，村上歯科医院がどの方向に向かって行こうとしているのか，私がスタッフに何を望んでいるのか，などを自然に感じ取り，身に付けてもらうことに繋がった．

一方，診療面においては，当院の得意技である「保存的歯周療法」の中の歯周基本治療を患者様への教育の場と位置づけると共に，信頼関係を築く場として捉え，重要視していった（症例I・症例II）．これらの努力により，徐々にではあるが「いい顔をしてくださる患者様」が増えてきた．それに

伴い，経営面にやや余裕ができ，診療台の増設（図３），歯科衛生士および歯科医師の増員などにつながっていった．さらに，患者数も年々増加し，改革を始めた８年前に比べると2.5 倍近くに増えてきた．

また，歯科医療サービスのより一層の充実を図るため，国際標準化機構ISO の品質マネージメントシステムであるISO9001の認証を取得した．これにより，スタッフ自らが目標を設定し「Plan → Do →Check → Action」のサイクルを回していってくれるようになった．

その他として，ホームページを開設した．これはかなり重要だと思う．以前は新患の患者様の大多数がご家族や知人のご紹介で来院されていたが，最近ではホームページをご覧になって来院される方がかなり増えてきた．特に当院はオフィス街にあるため，会社員の方が仕事中にインターネットで検索をして来院されたり，村上歯科医院を紹介されたのちにインターネットで確認して来院されているようである．高齢者の方でも，家族の方がホームページをご覧になられ当院を勧められた，と言われて来院される．

また，ホームページをご覧になってアメリカやアフリカからも来院された．もちろん来院される方は日本人であるが，海外に滞在されており，帰国した折に治療しておきたいと，インターネットで検索しアポイントを取られるのだ．昔では考えられない事態に驚く．

IV．患者様が真に望む歯科医療の実践（症例を通して）

今までお話ししてきたことのまとめとして，一人の象徴的な患者様との関わりをご紹介したい（症例III）．

患者様は56 歳の女性で，ご職業はある生命保険会社の北九州支部長をされている方だった．残存歯は22 本あったが，そのほとんどに，根尖部近くに至る骨吸収と高度の動揺が認められた．しかし患者様の主訴は，抜歯はせずに定年までの４年間，このままの状態を保って欲しい，というものだった．お話を伺うと，支部長として人前で講演をする機会が多く，歯を抜くことや入れ歯になることが大変お困りになる，という理由であった．

そこで患者様の要望に応え，修復治療は最小限にとどめ，口腔衛生の確立という治療方針で臨んだ．そうすることが患者様の望みであり，患者様が喜ばれることであればメそうしてあげようモ と考えた．そして，スケーリングやルートプレーニングなどの歯周基本治療だけはさせていただくことをご了解いただいた．そこには，メ歯周基本治療をしっかりと行うことは，現在の患者様の状況よりも必ず良い方向に向かう（マイナス要因にはならない）モ という確信があったからだ．途中，トラブルの発生した歯牙だけには簡単な処置をさせていただいたが，その他は，歯周基本治療とその後の１カ月に一度のメインテナンスを続けていった（III -18）．

ところが３年半経過したころ，患者様から「半年後に定年になり神戸に自宅を建てて転居するので，半年間で先生の望む治療をお願いしたい」，との申し出があった．結果的に継続的な歯周基本治療の効果で歯槽骨の修復が起こり，上顎８本，下顎６本の歯牙を保存することができ，クロスアーチのスプリントで補綴を終了することができた．ただ，修復治療期間が半年間しかなかったことで，歯周外科処置も行えず，およそ完璧な治療と言える結果ではないが，患者様には大変感動していただいた．

その患者様からのお手紙をご紹介する（III -19）．また，治療終了時に行うアンケート用紙の中にも「明るい挨拶，やさしい気配り，励ましの声かけ，不安を取り除いてくれる解りやすい説明，高度な治療技術，治療中の熱意，一生懸命さが伝わり，私も心の中でありがとうをくり返していました．心から感謝しております」という言葉をいただいた．手前味噌ではあるが，これからの医療の在るべき姿をそのまま言葉にしたような内容に驚き，感激した．この患者様は今でも３カ月に一度，新幹線で神戸から通ってくださり，神戸でのいろいろな楽しい日々のお話をしてお帰りになられる．

さて，このような結果を得たのは，単に表面的な接遇を強化しただけでは実現できることではなかったと思う．医療者側の押し付けの医療ではなく，患者様の真に望む医療を心がけ，患者様の尊厳を大切にした結果だと考える．また，これにはやはりそれまで培ってきた歯科治療技術があってはじめて実現できたことであろうと思う．技術の研鑽と患者様の人格を尊重した接遇が相まってこそ，このような「いい顔をしてくださる患者様」が生まれたのではないだろうか．

一方，経営面でもメ困難な時にこそチャンスがあるモ と思っている．医院経営者としての院長のリーダーシップのもと，患者様の求める歯科医療を追求する地道な努力が患者様に感動を与え，良い結果を生むのではないだろうか．

おわりに

最近，臨床発表や歯科雑誌の症例等を見ていて感じることがある．この中で患者様を不幸にしているケースがいくつかあるのではないだろうかと．患者様は本当にここまで求めていたのだろうか．治療が終わった後，メ治療して本当に良かったモ と正直に思っている患者様が何人いるのだろうか．そして，その修復物がどれだけ持つのだろうかと．ほとんどの講演や発表で提示される症例は成功例だ．私が出す症例も然りだが，その陰にどれだけ多くの失敗症例が隠されているのだろうかと．

われわれ歯科医師は，すでに壊れてしまった口腔をメどうにか修繕するモ ことも，とても大切な仕事だ．そのために，われわれ歯科医師は多くの学会や研修会などに参加し，研鑽を積んでいる．しかしわれわれのもっと大切な仕事は，口腔の修繕よりも，そのような状態になって残念だと思われている患者様のメ気持ちの修繕だモ と思う．できれば崩れてしまう前の健康な時点で，その状態のままで一生過ごしていただくためのお手伝いができれば，もっと素晴らしいことだと思う．

以前，新聞の対談の中で，京セラの稲盛和夫会長が「これまでは相対的価値を求める時代であったが，これからは絶対的価値を求める（真実の追求）時代になる」といった主旨のお話をされていた．医療人にとって「真実の追求」とは「健康の追求」であり，歯科医療においては予防的な療法であり，MI に代表される保存的療法であると考える．

それぞれの地域には地域性があり，それぞれの歯科医院にはその数だけ診療の考え方がある．そしてその医院の得意技がある．当院においてはできるだけ過激な診療は避け，患者様が受け入れやすい「保存的歯周療法」という長期的視野に立った歯科医療を通して，患者様，そして地域社会に貢献し続けようと思う．

今回まとめた内容は，歯科医療全体に関する普遍的な事項ではなく，単なる一歯科医師の経験談である．しかし，同じような境遇にある先生方やこれからこのような境遇に身をおく可能性のある若い歯科医師にとって，少しでも参考になれば幸いである．そして，歯科業界に対する国民の信頼が今後少しずつでも回復していくことを期待して，私の稿を閉じたい．

最後に，この場お借りして，当院に来院してくださるすべての患者様に感謝すると共に，当院の診療を毎日支え続けてくれるスタッフの皆さん，当院の技工を担当してくださるセラモテックシステムの森亮太氏，そして，私を一人前の歯科医師に育ててくださった先輩諸氏，また，その背中で医療人としての正しい生き方を教えてくれた父に，心より感謝いたします．

投稿者 村上：18:26 | コメント (0)

2008年01月07日

新年明けましておめでとうございます☆

いよいよ２００８年もスタートしましたね（＾＾）”
今年も村上歯科は院長を中心に頑張ってまいりますので、宜しくお願い致します★☆

今年はねずみ年ですね（＾３＾）”
新年明けましたが、今年は干支の１番最初ということ、平成２０年ときりがいいこと・・・などで皆様何か新しくはじめられたりしていますか？？
村上歯科医院にはねずみ年のスタッフが４人もいます♪♪何か良い事がありそうな１年だなぁ・・・と勝手に思っています（＾＾；）

患者様にいただいた手作りのねずみです。とても綺麗に作られてて本当に生きてるみたいで、動き出しそうです。。

その他にも、村上歯科医院はお正月バージョンになっています（＾＾）＃

皆様にとっても今年１年良い年となりますように☆☆☆☆☆

投稿者 村上：10:00 | コメント (0)

2007年12月27日

♪今年もお世話になりました♪

今年も残すところ後５日となりましたね（＾＾）☆
今年も１年間お世話になりました（＾０＾）”皆様にとって２００７年はどういう年でしたか？？

村上歯科では、今年は前田先生が新たに加わり、院長をはじめスタッフ一同力を合わせて頑張った年だったと思います。来院してくださった皆様、ありがとうございました（’u’）！